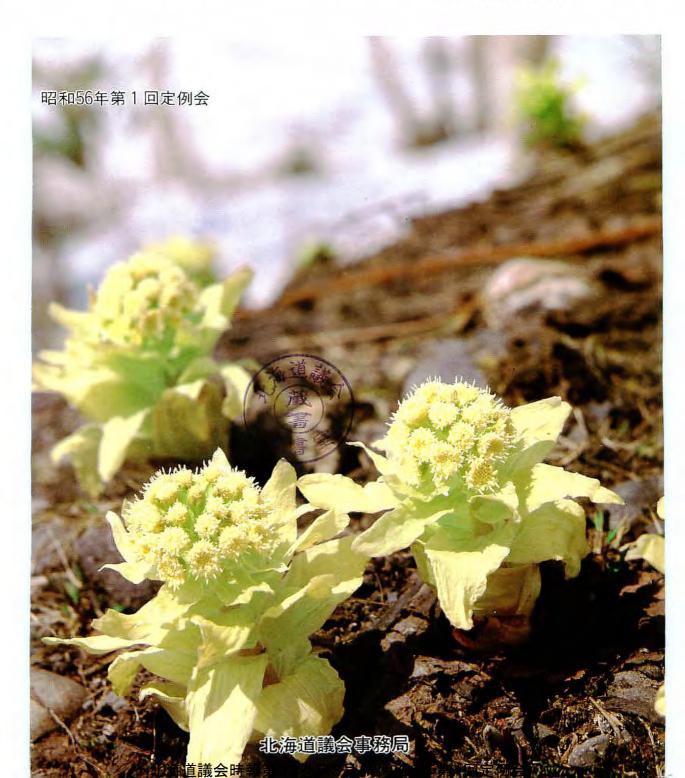
业海道議会時報

第33巻第3号



(表紙写真説明)

ふきのとう

キク科の多年草であるフキの花茎で、早春の山や野などに見られる。 東アジアの暖帯に分布し、山菜として食用にされている。

……第3号もくじ……

弗 1	四正例云	
	概	要······ 1
	本 会	議3
	提出案	件16
	意 見	案20
	請願・陳	情23
委員	会の動き	
	議会運営委員	会27
	常任委員	会·····35
	特別委員	会44
	総合開発訓	尚查特別委員会
	石炭対策特	特别委員会
	北方領土対	寸策特別委員会
	公害対策物	特別委員会
	冷害対策物	持別委員会
	予算特別委	§員会
資	料	
	第1回定例会	において議決を経た
	条例の公布調	62

3 月 の メ モ

議 会 日 誌

▶ 2月

23日(月) 議会運営、各常任、総合開発調査 特別、石炭対策特別、北方領土対 策特別、公害対策特別各委員会

24日(火) (第1回定例会開会)

議会運営、冷害対策特別各委員会本会議(会期決定<33日間>、道政執行方針、提案説明、教育行政執行方針、行政改革関連条例案可決、意見案2件可決)

▶ 3月

4 日(水) 議会運営委員会

本会議(代表質問<1人>)

5日(木) 議会運営委員会

本会議(代表質問<3人>)

6日(金) 議会運営、総務各委員会

本会議(一般質問<2人>)

7 H (土) 議会運営委員会

本会議(追加提案説明)

10日(火) 議会運営、総務各委員会

本会議(一般質問<1人>、追加提案

説明)

11日(水) 議会運営委員会

本会議(一般質問<2人>)

12日(木) 議会運営委員会

本会議(一般質問<3人>)

13日(金) 議会運営委員会

本会議(一般質問)

14日(土) 議会運営、建設各委員会

本会議(一般質問<1人>、先議案件 1件可決) 17日(火) 議会運営委員会

本会議(一般質問<2人>)

18日(水) 議会運営委員会

本会議(一般質問<1人>)

19日(木) 議会運営、総務、文教林務各委員

会

本会議(一般質問<3人>、予算特別 委員会設置、補正予算等先議案件可決、 冷害対策調査終了議決、意見案1件可

予算特別委員会 (正副委員長の互選、3分科会設置、先議案件審査、意見調整)、予算第1、第2及び第3 各分科会 (正副委員長の互選)

23日 (月)

24日 (火)

25日(水) 予算各分科会(各部所管審査)

26日(木)

27日(金) 議会運営、総務各委員会、予算各分科会(各部所管審査)

本会議(提案説明、請願陳情審查)

28日(土) 議会運営、各常任、公害対策特別、決算特別各委員会、予算各分

科会(各部所管審査)、予算特別委

員会(総括質疑、意見調整)

本会議(会期延長)

29日(日) 本会議(修正案否決、議案等可決、副

知事選任同意、 意見案1件可決、 請願 審查)

(第1回定例会閉会)

30日(月) 各常任、北方領土対策特別各委員

会

第1回定例会

総額1兆6千億円余に及ぶ当初予算成立

▶道立增毛病院、酪農検査所廃止条例案可決◀

概 要

- ① 昭和56年度当初予算などを審議する第1回道議会定例会は、2月24日招集され、会期を3月28日までの33日間と決定の後、総額1兆6,004億円余に及ぶ昭和56年度当初予算並びにこれに関連する議案等が上程され、知事から道政執行方針及び提出案件に関する説明、教育長から教育行政執行方針に関する説明。ついで、前会より継続審査の道立増毛病院及び酪農検査所の廃止に係る条例案並びにこれに関連する請願について討論、採決の結果、委員長報告のとおり原案可決または委員会決定のとおり不採択と決定。ついで、国鉄地方交通線の確保に関する要望意見案ほか1件の意見案を可決して、議案調査のため翌25日から3月3日まで7日間休会した。
- (2) 休会明けの3月4日から代表質問に入り、翌5日代表質問を終結、同日、議場における不規則発言に係わる懲罰動議が提出されたが、一般質問に入った翌6日に取り下げられた。ついで、7日には総額128億円余の昭和55年度最終補正予算等の議案が追加提案され、議案調査のため9日は休会し、10日には道職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部改正など3条例案が追加提案され、一般質問を続行。14日には河川法に基づく一級河川の指定等に係る案件について先議を行い、委員長報告のとおり原案可決して、議案調査のため16日は休会した。19日に至り一般質問を終結して、直ちに52人からなる予算特別委員会を設置のうえ、議案の各委員会付託を行い、同日、先議案件の補正予算等に対する各委員長報告の後、社会党提出に係る昭和55年度一般会計補正予算に対する修正案の趣旨説明があって、討論、採決の結果、これを否決し、いずれも委員長報告のとおり原案可決。ついで、昭和55年における異常気象による冷害対策の件について、冷害対策特別委員長報告をもって調査終了することに決定の後、さけ・ます漁業の安定に関する要望意見案を可決して、議案調査のため20日から26日まで7日間休会した。
- ③ 予算特別委員会は、3月19日、正副委員長の互選を行い、3分科会を設置のうえ、補正予算に対する先議を行い、同日質疑を終結し、直ちに意見調整に入ったが意見の一致をみるに至らず、社会党から昭和55年度一般会計補正予算に対する修正案が提出され、採決の結果、これを否決し、いずれも原案とおり可決することに決定した。 ついで、23日から昭和56年度予算等に対する各部所管審査に入り、28日に各分科会における質疑を終結し、同日各分科委員長報告の後、知事に対する総括質疑を行い、直ちに意見調整に入ったが、意見の一致をみるに至らず、社会、公明、共産3党共同による昭和56年度一般会計予算に対する修正案が提出され、採決の結果、これを否決し、知事提案をいずれも原案のとおり可決した。
- ④ 本会議再開日の27日は、知事等の給与等に関する条例等の一部改正条例案が提案され、委員会付託 の後、請願陳情審査の件について、委員会決定のとおり4件を採択と決定。ついで、28日は、あらか じめ会議時間を延長のうえ、深夜に至り本会議を再開し、昭和56年度当初予算等に対する予算特別委 員長報告及び各付託議案に対する各委員長報告が行われたが、議事の都合により議事を中止し、会期 を3月29日まで1日間延長することとし、29日は休日であるが議事の都合により、午前零時5分に繰 り上げ、会議を開くことに決定した。
- ⑤ 会期最終日の29日(日曜日)は、前日に引き続き、各付託議案に対する各委員長報告が行われた

後、社会、公明、共産及び無所属共同提出に係る昭和56年度一般会計予算に対する修正案の趣旨説明があり、討論、採決の結果、これを否決し、いずれも委員長報告のとおり原案可決。ついで、副知事選任同意案件を原案のとおり同意議決し、意見案1件を可決の後、請願審査の件について、委員会決定のとおり5件を採択と決定した。ついで、議案第41号道立静和園条例を廃止する条例案及び前会より継続審査中の報告第2号昭和54年度各会計歳入歳出決算の閉会中継続審査並びに閉会中請願、陳情継続審査及び事務継続調査の件を決定して、今期定例会に付議された案件は、議案第41号及び前会より継続審査中の報告第2号を除きすべて議了。議長から閉会のあいさつがあって、開会以来34日目の3月29日午前1時19分閉会した。

⑥ 提出案件の処理状況は、次のとおりである。

					処		理 0	大			計
提	出	者	提出件数	原案可決	否	決	同意議決	継続審査	報告のみ	取り下げ	
知			72	69(2)		0	1	1(1)	1	0	72(3)
議		負	7	4		2	0	0	0	1	7
18X	計	<i>F</i> '	79	73(2)		2	1	1(1)	1	1	79(3)

注 かっこ内は、継続審査案件に係る議決件数を示し、外数である。

本 会 議

○2月24日(火) 午前10時7分開議、西尾六七 議長、昭和56年第1回定例会の開会を宣し、引き続き、

日程第1 会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告の後、議長から、元道議会議員二瓶栄 吾氏の逝去(1月26日)について弔意を表した 旨報告。次に、

日程第2 会期決定の件を議題とし、今期定例会の会期を、本日から3月28日までの33日間と決定。次に、

日程第3 議案第1号ないし第56号を議題とし、知事から、道政執行方針及び提出議案に関する説明並びに教育長から、教育行政執行方針に関する説明。次に、

日程第4 前会より継続審査の議案第13号及 び第18号並びに

日程第5 請願第56号及び第104号を一括議 題とし、日程第5の請願第56号及び第104号に 関する委員長報告を省略の後、伊藤武一厚生副 委員長(公明)から、日程第4の前会より継続 審査の議案第13号について、武部勤農務委員長 (自民)から、日程第4の前会より継続審査の 議案第18号について、それぞれ委員会における 審査の経過と結果を報告の後、討論に入り、舟 山広治議員(社会)から、前会より継続審査の 議案第13号及び第18号並びに請願第56号及び第 104号の審査結果の不採択に関する反対討論、 川口常人議員(自民)から、前会より継続審査 の議案第13号及び第18号並びに請願第56号及び 第104号の審査結果の不採択に関する 賛成 討 論、本間喜代人議員(共産)から、前会より継 続審査の議案第13号及び第18号並びに請願第56 号及び第 104 号の審査結果の不採択に関する反 対討論があって討論終結。ついで、採決に入 り、まず、日程第4の前会より継続審査の議案 第13号及び第18号を問題とし、起立採決の結 果、起立多数(社会、共産、無所属反対)をも って委員長報告のとおりいずれも原案可決。次 に、日程第5の請願第56号及び第104号を問題 とし、起立採決の結果、起立多数(社会、共 産、無所属反対)をもって委員会決定のとおり

いずれも不採択と決定。次に、

日程第6 意見案第1号及び第2号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、異議なく原案のとおり可決。

ついで、議案調査のため2月25日から3月3日までの7日間休会、3月4日再開することに 決定して、午前11時35分散会。

○3月4日(水) 午前10時8分開議、諸般の報告の後、議長から、本間喜代人議員(共産)の2月24日の本会議における発言の一部取消し及び訂正の申し出についてはかり、異議なく許可することに決定。ついで、

日程第1 議案第1号ないし第56号を議題とし、代表質問に入り、

山家 勇議員(社会)から、

- ① 知事の政治姿勢に関し、本道経済の自立化に対する阻害要件と道政執行方針における政策理念、北方領土返還運動に当たっての日ソ平和条約締結促進に対する所見、赤字ローカル線廃止に係る政令基準決定に伴う意見具申の考え方と対処方針、特別運賃制度の導入に対する見解
- ② 財政問題に関し、56年度予算における道税 収入の算定方法、法人関係税の見通し、今後 の歳入の確保と予算規模の見通し、減債基金 取崩しの根拠と新規積立ての基準、財政調整 基金及び減債基金の運用についての基本的見 解、中期財政計画策定の考え
- ③ 経済問題に関し、本道経済の体質と経済政策のあり方、道開発における国の財政特例と開発理念の見直し、産業構造の高度化を図るための基礎調査等の考え方、ローカルエネルギーの開発と産業政策への反映、地場産業振興と流通対策の推進、自立経済達成に対する予算、指導機能の強化
- ④ 北海道保健医療基本計画に関し、へき地医療の確保に対する基本的認識と今後の方針、保健医療サービスの実施主体と役割り分担及び道立病院の再編整備との関係、保健医療機関の再編成の具体的内容、市町村立病院の再編成及び財政措置についての考え方、保健医療基本計画の年次別事業実施計画の策定の考え、基本計画と道立病院の統廃合との整合性

- ⑤ 身障者対策に関し、法定雇用率を上回るための総括的な雇用対策、低雇用率の企業に対する指導方針、職場環境の整備と賃金格差の是正、ガイドヘルパーの確保と公共施設等の改善整備に対する考え方、文化施設・保養訓練センター等設置の考え、障害児の後期中等教育の計画、医療・福祉・教育の一貫性確保に対する教育的措置
- ⑥ 原子力発電と核廃棄物の処理に関し、泊・共和原発に係る北電と泊村漁協との交渉の経緯、道水産部の漁業影響に関する中間報告についての見解、高レベル廃棄物の処理に対する認識、下川鉱山における廃棄物試験の受けとめ方、今後の試験の内容と放射性物質使用に対するチェック方法、石油代替エネルギーとして原子力発電を推進する理由及びウラン確保の見通しとの関連、共和・泊原発運開後における廃棄物の処理、処分の見通し及び電源開発調整審議会上程の日途
- ⑦ 農業問題に関し、本道農業の発展方策、食管法の改正に対する見解と対処策、本道稲作の将来展望と発展計画との関連、転作の定着化対策、56年度酪農関係予算編成の基本的な考え方
- ⑧ 林業問題に関し、営林署の統廃合についての現状と対応姿勢、木材関連産業の経営環境と安定対策
- ③ 水産問題に関し、道漁連の体質改善に対する自己の取組み、不祥事件続発の要因、再建に対する道の指導方策、水産加工業の振興に当たっての指導体制、加工開発の研究体制、予算及び金融対策の考え方、秋サケ親魚の確保策、サケ・マス資源増大計画に係るふ化施設の整備計画、秋サケ資源の配分計画、サケ・マスの消費拡大の見通し、イワシ、サンマ等大衆魚の流通対策
- (i) 教育問題に関し、児童生徒の学校内暴力等の非行の現状と問題点、受験競争教育の解消、児童生徒の個性、能力伸張のための教育体制の確立、総合選抜制の実現見通し、教育長計後期計画において高校進学率を明示しない理由、道発展計画の進学率指標の変更の考え、進学率と収容率との推計乖離率、定時制教育の充実策、障害幼児の実態と特殊教育セ

- ンターの設置計画及び収容目標率、障害児に 対する不快・差別用語の点検と見直し
- ① 暴走族の取締りと交通事故防止対策に関し、暴走族の離合集散に対する見解、い集場所、路線等の分析結果と今後の取締方針、交通死亡事故の要因、交通安全施設の整備、シートベルトの着用及び早目点灯の実行と事故防止との関係、法改正等による義務化の考え、本道の地域性、気象条件を考慮した具体的運転規範に対する所見等について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。 議事進行の都合により午後零時29分休憩、午後2時25 分再開。山家勇議員(社会)から再質問、知事から答 弁調整のため時間を要する旨発言があって午後2時58 分休憩、午後4時20分再開。知事から休憩前の山家議 員の再質問に対する答弁の後、あらかじめ会議時間を 延長のうえ、教育長から山家議員の再質問に対する答 弁。保格博夫議員(社会)から議事録精査を求める旨 の議事進行発言があって午後4時46分休憩、午後5時 再開 知事から山家議員の再質問に対する補足答弁が あって午後5時2分延会。

○3月5日(木) 午前10時14分開議、諸般の報告の後、議長から山家勇議員(社会)の代表質問に対する警察本部長の答弁訂正の申し出書が提出され、これを了承した旨報告があり、

日程第1 議案第1号ないし第56号を議題と し、代表質問を継続、

新沼 浩議員(自民)から、

- (1) 道政執行方針に関し、本道の位置づけについての認識、道発展計画の着実な推進方策、 自立経済確立に向けての調査研究組織の設置 及び国や道の役割の明確化
- (2) 道財政問題に関し、経常収支比率・公債費 比率の推移と見解、財政運営上の姿勢、健全 な財政構造維持についての所見
- (3) 行政改革問題に関し、減量化の基本認識と本庁機構の見直し、事務の能率化と経費節減についての所見、今後の行政改革の方向と見通し
- ④ 中小企業対策に関し、本年の本道経済の見通しについての認識、特定不況地域における 振興策、企業倒産防止対策の早期実施につい ての考え方
- ⑤ 農業問題に関し、転作の具体的な推進方

策、酪農、肉牛農家の経営再建対策への取り 組み、畜産物価格決定に向けての姿勢

- ⑥ 障害者福祉問題に関し、国際障害者年に係る長期行動計画策定に当っての所見
- ⑦ 地域振興問題に関し、オホーツク海沿岸地域の開発方策、地域立法についての考え方、 航路確保についての取り組み
- ⑧ 北方領土問題に関し、返還運動の定着化についての方策、根室地域の振興対策の進め方
- ⑨ 教育問題に関し、公教育推進のための指導理念、中学校の新教育課程編成状況と実施の見通し及び道徳教育の充実、ゆとりある学校生活の実現への対処、教員の研修事業の推進方策、高校施設整備事業の進め方と新規16校の具体的改築計画、少年非行の抑止対策について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。 議事進行の都合により、午前11時58分休憩、午後1時 35分再開。ついで、

高橋 鉱議員(公明)から、

- ① 道政執行方針に関し、前年の執行方針との 関連性、「自立の精神」の意味合い
- ② 財政問題に関し、道税収入見込み額についての見解、明年度以降の財政運営の見通し、基金の取り崩しに対する見通し、今回の事務事業の見直し結果に対する所見と今後の対処策、出資金の見直しに対する考え方
- ③ 行政改革問題に関し、静和園の廃止に伴い新しい養護老人施設を現在地に整備しない理由、内部障害者更生指導所の低入所率についての見解及び通所者に対する今後の取り扱い、本庁機構の見直しについての基本的認識及び見直しの方向、市町村及び道の出先機関への権限移譲の経過と今後の取り組み
- ④ 開発問題に関し、開発予算のあり方についての見解、北海道開発法の改正についての見解、見込み経済成長率からみた発展計画の見直しについての所見、発展計画の実績及び進捗状況把握と今後の推進方策、自給率の向上を目指した工業振興策及び企業誘致についての考え方、地場産業振興についてのビジョン、カラマツ材の高度利用方策、集成材や単板積層材の用途及び販路についての取り組み、林産試験場の研究体制整備の必要性、火山灰ガ

- ラス繊維に係る研究体制整備の必要性、産業 界との共同研究による技術開発の必要性
- ⑤ 障害者福祉問題に関し、障害者福祉についての知事の基本理念、障害者対策に取り組む基本的姿勢、地域社会と一体となった組織づくりについての考え方、長期行動計画策定の考え方及び推進方策とその体制、就職相談の窓口開設と手話通訳者の配置についての考え方、求人・求職の情報提供体制の確立、行政機関・企業・障害者団体等定期懇談の場の設置促進方、広報・啓発活動の継続的実施方、福祉読本の作成方、法定雇用率の完全励行と引き上げについての国への働きかけ
- ⑥ 保健衛生問題に関し、健康づくり対策のこれまでの取り組み及び保健所との係り合い、 健康手帳制度新設についての見解、保健所機 能の強化についての基本的姿勢、保健所の人 員配置についての考え方
- ⑦ 中小企業対策に関し、年度末に向けての金融対策及び選別融資への対処策、倒産関連保証の指定基準の引き下げについての国への働きかけ、中小企業再建特別貸付制度の新設についての検討方、企業体質強化に向けての施策、技術水準向上対策のこれまでの取り組みと今後の対処策、中小企業大学校設置に対する取り組み
- ⑧ 教育問題に関し、地域ぐるみでの少年非行防止及び健全育成策の認識と具体的な取り組み、幼児期における家庭教育の見直し、家庭訪問充実のための具体的方策について

質問があり、知事及び教育長から答弁。 高橋鉱 議員 (公明)から再質問、知事から答弁。議事進行の都合 により、午後3時30分休憩、午後3時56分再開。つい で、

高田 忠雄議員(道政)から、

- ① 道政執行方針に関し、本道経済の現状認識 と今後の施策、地場工業振興のための具体的 施策、苫東における自動車工業立地の見通し
- ② 財政問題に関し、道税の伸び率と地方財政 計画における伸び率との差異の理由、税源の 涵養と税収の確保についての見解、給与費の 増加率の明確化、今後の道財政の見通し
- ③ 行政改革問題に関し、本庁機構の見直しに ついての所見、出先機関見直しの対象・時期

等についての考え方、警察組織体制の整備方 針

- ④ 福祉施設整備問題に関し、特別養護老人ホームの整備促進についての見解、心身障害者総合相談所設置に当っての考え方と手順
- ③ エネルギー問題に関し、地熱の開発利用と 行政的対応、原発の安全性確保についての考 え方、共和・泊原発建設に係る温排水の拡散 状況及びスケトウダラの卵や稚仔魚さらに地 域漁業への影響、電調審上程への見通し、省 エネルギー対策資金の制度充実化
- ⑥ 北方領土問題に関し、返還要求すべき北方 領土の範囲についての知事の見解について 質問があり、あらかじめ会議時間を延長のうえ知事及 び警察本部長から答弁があって、午後4時59分延会。
- ○3月6日(金) 午前10時53分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第56号を議題と し、質疑並びに一般質問に入り、

青山 章議員(自民)から、

- ① 農業問題に関し、本道畑作をめぐる情勢と振興策、転作に伴う誘導作物についての考え方、排水等転作条件の整備、転作に伴う土地改良区の運営についての考え方、農業共済組合の運営実態と健全運営に対する所見
- ② 林業の振興に関し、木材関連産業の経営実態と道の指導方策、本道広葉樹資源の現状把握と育成対策及び利用の高度化に対する所見
- ③ 水産業問題に関し、漁業経営の安定対策、 漁港の次期整備計画策定に当たっての考え方 等について

質問があり、知事から答弁。ついで、

渋谷 澄夫議員(社会)から,

原発と核廃棄物に係る諸問題に関し、共和・泊原発に対する知事の姿勢、原発のコストの算出方法と経済性に対する評価、原発からの放射線による人体への影響、原発の従業員の人体被爆と安全性に対する認識、核廃棄物の処理、処分の方法と廃炉対策の十分性、本道エネルギーの需給見通しと原発推進との関係、ウランの資源量の見通しと開発利用との整合性、低レベル廃棄物の海洋投棄に対する認識、高レベル放射性廃棄物の地層処分技術

開発に係る地層選定の目途、下川鉱山以外の 試験地点の選定状況、今後の国内試験につい ての把握状況、原発建設に対する諸外国の実 情と知事の受けとめ方、使用済み核燃料の実 搬航路と漁業操業への影響、高レベル廃棄 物を漁業操業への影響、高レベル廃棄 の本道投棄の懸響、高レベル廃棄 を加力での核廃棄物 地内での核廃棄物 位置付け、廃棄物地層処分に係る試験対象岩 種についての認識と治する所観部長発言 及び商工労働委員会における試験実施の 真意、放射性物質使用による試験実施の 真意、放射性物質使用による試験実施の 真意、放射性物質使用による試験に と手エック体制、今回の試験による地層処分 の安全性確認の有無、幌延町の原発誘致運動 の背景と町村に対する道の対応姿勢等につい て

質問があり、知事から答弁。議事進行の都合により午後零時2分休憩、午後4時17分再開。あらかじめ会議時間を延長のうえ、知事から休憩前の 渋谷 澄夫 議員(社会)の質問に対する補足答弁。渋谷議員から再質問、知事から答弁調整に時間を要する旨発言があって午後4時32分休憩、午後4時35分再開し、直ちに延会。

O3月7日(土) 午後1時33分開議、諸般の報 告の後、

日程第1 議案第1号ないし第56号を議題と し、議事進行の都合により日程第1の議事を中 止。ついで、

追加日程 議案第57号ないし第66号を議題と し、知事から提案説明。ついで、議案調査のた め3月9日は休会することに決定の後、本日の 本会議は、日程を延期し、延会することに決定 して午後1時40分延会。

○3月10日(火) 午後零時5分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第66号を一括議題とし、質疑並びに一般質問を継続、知事から3月6日の本会議における渋谷澄夫議員(社会)の再質問に対する答弁の後、渋谷議員から再質問、議事進行の都合により午後零時26分休憩、午後2時10分再開。知事から休憩前の渋谷議員の再再質問に対する答弁。会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可の後、渋谷議員から質問があって、知事から答弁。議事進行の都合により日程第1の議事を中止し、諸般

の報告の後、

追加日程 議案第67号ないし第69号を議題とし、知事から提案説明。ついで、

日程第1にあわせ追加日程を一括議題とし、 議事を継続、

川崎 守議員(共産)から、

- ① 行政改革に関し、行政改革に対する知事の 基本的理念、支出の抑制、不要不急部門の縮 小、本庁機構の見直し、道職員の役割り発揮 ための改革及び道民参加の道行政改善委員会 設置の考え
- ② 核燃料再処理工場誘致と核廃棄物に関し、 使用済み核燃料再処理工場の道内誘致に対す る基本姿勢と奥尻町の工場誘致 運 動 との 関 係、下川鉱山の核廃棄物実験の全体計画の内 容と知事の受けとめ方
- ③ 「北方領土の日」の設定に関し、2月7日 設定に対する知事の基本的見解及び領土返還 運動との関係
- ④ 障害者対策に関し、国際障害者年道推進本 部に係る長期行動計画策定のあり方、推進本 部継続の必要性、身体障害者の法定雇用率引 上げに対する国への働きかけ、企業への雇い 入れ計画作成命令による雇用実績、道におけ る雇用の拡大、身体障害者向け住宅の設計及 び道営住宅の部分改良に対する配慮、ケアつ き住宅の早期建設、精神障害者の社会復帰促 進のためのケースワーカーの精神病院への配 置と研修の実施及び道費助成の考え、デー・ ケア部門の拡充、社会復帰センターの設置場 所、障害者の歯科治療対策と協力医制度設置 の考え、心身障害者の共同作業所に対する助 成策と補助金の増額、心身障害者の児童の保 育所入所措置に対する市町村への指導、障害 児保育に対する助成拡大、道立保育専門学院 における障害保育課程設置の考え
- ⑤ 医療対策に関し、乳幼児健診の拡充に対する保健所の援助強化と市町村への指導、保健婦の研修及びボイター法による脳性麻痺発見事業の拡大、がん対策に係る婦人向け検診車の整備と地域がん検診センター設置の考え
- ⑥ 農業問題に関し、農家経営の悪化と農政に 対する知事の取組み姿勢との関係、貸付金償 還猶予措置の対象拡大等の負債軽減対策、複

- 合経営化に対する助成策、転作農家の所得確保策、羽幌町の農地買収問題についての把握 状況と今後の対処方針
- ⑦ 大型店進出対策に関し、商店街関係者の大型店出店凍結宣言に対する見解、出店規制の考え方
- ⑧ 雇用問題に関し、高年齢者の法定雇用率達成に対する企業への指導措置と今後の対策、定年延長の法制化に対する国への働きかけと企業への指導、失対事業就労者に対する配慮と公的就労事業の実施の考え
- ③ 公営住宅問題に関し、第4期住宅建設5筒年計画における公営住宅の計画戸数及び居住水準に対する考え方、56年度の建設戸数、道営住宅の家賃値上げの中止と修繕費等の予算措置、持ち家建設資金の貸付額の引き上げと改良住宅への資金貸付け方
- ⑩ プロパンガスの価格対策に関し、本道における輸入中継・備蓄基地の建設促進、消費者 団体等に対する共同購入の指導、援助方
- ① 教育問題に関し、養護学校における訪問教育の改善充実、養護学校分校の計画的整備と教員の配置改善及び地域の学齢児を就学時間とあ考え、スクールバスの小型化と走行時促進のためのモデル校設置の考え、教育長計して必要で、教育長計画の新増設計画の基本方針と見直しの必需的が進設がでのでは、渡島学区の新設校の場別を目途と仮校との理由及び建設用地の早期選定方、中学校統合問題に対する見解、森町中学校統合問題に対する見解、森町中学校統合問題に対する見解、森町中学校統合問題に対する道教委の実態把握する道教委の実態が表する道教委の実態が表する道教委の実態が表する。

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。 川崎守議員(共産)から再質問及び再再質問があり、 知事及び教育長から答弁。あらかじめ会議時間を延長 し、会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可 の後、川崎議員から質問及び要望があり、知事から答 弁があって午後4時40分延会。

○3月11日(水) 午前10時20分開議、諸般の報 告の後、

日程第1 議案第1号ないし第69号を議題と

し、質疑並びに一般質問を継続、

久田 保議員(自民)から、

- ① 石油代替エネルギー対策に関し、ローカルエネルギーの開発利用の促進と具体的な取組み方法及び相談窓口の設置方、水力の開発利用の積極的推進、国内炭の生産確保の必要性と新鉱開発に対する国への働きかけ、石炭の高度利用に係るコム燃料の開発促進、サンシャイン計画の推進について国へ要請方、共和・泊原発の促進及び電源立地に係る庁内体制の整備
- ② 地場産業の振興と企業誘致の促進に関し、中小企業の技術水準の向上に対する技術アドバイザー制度の利用状況と今後の運営方針、組織的な技術の交流、提携の促進について関係者への指導方、ガラス工芸の振興に対する所見、集積回路を中心とする電子工業の道内誘致策等について

質問があり、知事から答弁。ついで、

輪島 幸雄議員(社会)から、

- ① 道産品の愛用策に関し、地場工業振興に対する知事の基本姿勢及び道産品の愛用推進との関係、優良道産品推奨制度の推進方策、道産品愛用推進について関係方面への働きかけ方と組織づくりに対する所見、庁内における道産品利用促進の施策と推進体制の充実強化
- ② 医療行政に関し、道立病院の医師確保とそ の負担に対する基本的見解、市町村負担の解 消、江差・紋別・羽幌の道立地域センター病 院の整備計画、地域センター病院の機能拡充 と医療従事者の確保に対する取組み、道立病 院等におけるケースワーカーの配置の考え 方、医療監視体制の十分性、監視結果による 特徴的な問題点及びその対応策等について 質問があり、知事から答弁。輪島幸雄議員(社会)か ら再質問、知事から答弁調整に時間を要する旨発言が あって議事准行の都合により午前11時48分休憩、午後 1時48分再開。知事から休憩前の輪島議員の再質問に 対する答弁。輪島議員から再再質問、知事から答弁調 整に時間を要する旨発言があって議事進行の都合によ り午後2時11分休憩、午後4時40分再開し、直ちに延 会。
- ○3月12日(木) 午前10時47分開議、諸般の報 告の後、

日程第1 議案第1号ないし第69号を議題とし、質疑並びに一般質問を継続、知事から昨日の本会議における輪島幸雄議員(社会)の再再質問に対する答弁。ついで、

岡本 栄太郎議員(社会)から、

農業問題に関し、本道農業の危機打開策と 56年度予算における措置、本道農業の振興方 策の検討のあり方、道発展計画及び地域別農 業経営指標との関連、転作に伴う地域振興作 物についての国との交渉内容、団地加算の条 件緩和の見通し、転作作物の流通・価格対 策、酪農危機に対する認識と政策的接護の好 要性及び道の対策、乳価据え置きの解消と加 工原料乳限度数量枠の拡大対策、乳製品、対 衰乳製品の輸入抑制措置、酪農経営改善別類品の 報子を振興対策の考え方、56年のてん菜生産 振興計画と工場の原料ビート処理能力との関 係、農畜産物の流通加工体制の整備状況と今 後の重点施策について

質問があり、知事から答弁。岡本栄太郎議員(社会)から再質問、知事から答弁調整に時間を要する旨発言があって、議事進行の都合により午前11時46分休憩、午後2時12分再開。知事から休憩前の岡本議員の再質問に対する答弁の後、岡本議員から再再質問、知事から答弁。ついで、

伊藤 豪議員(道政)から、

- ① 本道の安全確保と防衛問題に関し、北方領土におけるソ連脅威論に対する国の情勢判断と道民不安の解消策、本道の安全と防衛に対する知事の認識及び基本姿勢、自衛隊への謝意の表明と激励方
- ② 地場産業の振興に関し、自動車工業の苦東 進出等に伴う本道機械工業の技術水準の向上 策、道内産業の育成に対する具体的施策と助 成の考え方、農業用資材として素焼き土管の 活用方
- ③ ベビーホテル問題に関し、道内におけるベビーホテルの実態把握状況、厚生省通達に基づく一斉点検の内容、調査対象施設の範囲、点検結果に基づく道の指導措置及び調査のあり方、ベビーホテルの法的規制について国への要請方
- ④ 教職員の給与問題に関し、教職員団体の主 任手当の返還理由と今回の返還金の取扱い、

手当返還についての道教委の受けとめ方と今後の対処策、教職員の給与の運用措置の是正 方について

質問があり、知事及び教育長から答弁。ついで、

関根 建二議員(社会)から、

- ① 道政執行の基本姿勢に関し、道政を取り巻 く環境と道政執行に当たっての知事の基本姿 勢
- ② 産業振興策に関し、一次産業に関連する製造業の振興策、企業誘致の基本的視点と具体的施策、企業倒産の実態と見通し、倒産防止に対する金融制度新設の考え、既往借入金の繰延べ及び信用保証の取扱いの拡大に対する所見と取組み姿勢
- ③ 福祉行政に関し、国際障害者年に当たって の福祉に対する基本的視点と施策のあり方、 精神薄弱児施設等における母子訓練の改善充 実、中央乳児院の小樽市銭函への移転整備の 妥当性、移転用地についての札幌市との協議 内容、ベビーホテルの実態調査結果と行政指 導すべき問題点
- ④ 身体障害者対策に関し、道立白糠学園の民間への運営委託理由と委託によるメリット、旭川整肢学院の肢体不自由児総合療育センター化の現状と機能強化、白糠学園・函館青柳学園の役割りと医療的機能の整備及び第2期社会福祉長期計画との関係、美唄市、札幌市における身体障害者更生施設の統合に係る軽度の更生施設設置に対する考え方、重度身体障害者更生施設の医師等の配置状況と入所基準及びその妥当性、市町村における身障者法定雇用率達成に対する指導方策
- ⑤ 老人福祉対策に関し、在宅老人に対する通 所機能回復訓練事業の実態と今後の充実策、 老人家庭奉仕員、介護人の処遇改善と派遣事 業の促進策、老人の生きがい対策の検討方向 と施策の内容
- ⑥ 社会福祉法人の運営と福祉部門の行政改革 に関し、社会福祉法人の負債償還等をめぐる 運営上の問題点と市町村に対する指導実態、 道立社会福祉施設の行政改革と第2期社会福 祉長期計画の施策内容との関係及び長期計画 見直しの考え等について

質問があり、知事から答弁。あらかじめ会議時間を延

長のうえ、関根建二議員(社会)から再質問、議事進行の都合により午後4時47分休憩、午後4時49分再開して直ちに延会。

○3月13日(金) 午前10時40分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第69号を議題とし、質疑並びに一般質問を継続、知事から昨日の本会議における関根建二議員(社会)の再質問に対する答弁の後、関根議員から再再質問、知事から答弁調整に時間を要する旨発言があって、議事進行の都合により午前11時13分休憩、午後3時26分再開。知事から休憩前の関根議員の再再質問に対する答弁の後、保格博夫議員(社会)から議事録精査を求める旨発言があって、議事進行の都合により午後3時35分休憩、午後4時40分再開して直ちに延会。

O3月14日(土) 午前11時28分開議、諸般の報 告の後、

日程第1 議案第1号ないし第69号を議題とし、質疑並びに一般質問を継続、会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可の後、関根建二議員(社会)から質疑があり、知事から答弁。ついで、日程第1のうち議案第55号について、先議することとし、建設委員会に付託。議事進行の都合により午前11時29分休憩、午後1時23分再開。諸般の報告の後、日程第1の議事中止。ついで、

追加日程 議案第55号を議題とし、水沼徳一郎建設委員長(自民)から委員会における審査の経過と結果について報告の後、異議なく委員長報告のとおり原案可決。ついで、日程第1の議案第1号ないし第54号及び第56号ないし第69号の議事継続、

岩崎 守男議員(社会)から、

- ① 企業誘致に関し、企業誘致の基本姿勢、誘 致企業の倒産に対する見解、誘致企業の選定 のあり方と道の指導及び育成振興対策の十分 性、誘致企業の倒産に伴う地域経済への影響 と対処策
- ② 道漁連問題に関し、一連の不祥事件の発生 要因と道漁連の運営方針との関係、根室地区 漁協組合長会における道漁連役員の発言の受

けとめ方と体質改善に対する役職員の姿勢に ついいての所見、員外取引の制限、外部出資 の見直し等流通業界の環境改善、道漁連の事 業目的と職員の本来的な姿、道漁連の新執行 体制の基本的姿勢、今回の釧路支所の事故原 因、冷蔵庫の普及等に伴う水産物の流通及び 価格形成に及ぼす影響と適正化に対する所 見、釧路市場の中央市場への昇格についての 考え方、大衆魚の流通拡大対策、漁業協同組 合経営安定資金貸付金の性格と道漁連の再建 との関係、釧路・根室支所の事件の実情と関 係職員に対する道漁連の処分の妥当性、関係 取引業者の処置及び道漁連の責任についての 見解、釧路支所事件関係職員の告訴に伴う道 警本部の捜査方法と今後の見通し、東京営業 本部事件の捜査進展状況等について

質問があり、知事及び警察本部長から答弁。岩崎守男議員(社会)から再質問、知事及び水産部長から答弁。保格博夫議員(社会)から的確な答弁を求める旨の発言があって、議事進行の都合により午後2時42分休憩、午後3時53分再開。水産部長から休憩前の岩崎議員の再質問に対する補足答弁。岩崎議員から再再質問、知事及び水産部長から答弁。議事進行の都合により、あらかじめ会議時間を延長し、午後4時18分休憩、午後5時12分再開。会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可の後、岩崎議員から質疑があって、水産部長から答弁。ついで、議案調査のため、3月16日は休会することに決定して午後5時18分延会。

○3月17日(火) 午前10時43分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第54号及び第56号ないし第69号を議題とし、質疑並びに一般質問を継続、

小田原 要四蔵議員(社会)から、

- ① 開発政策に関し、北海道経済自立論への所見、自立経済の判断基準、自立論と開発予算との係り合い、開発予算の動向と発展計画との関連、開発公共事業のあり方、基礎資源型工業の展望、高加工型工業立地の方向性、工業化と発展計画との関連、北欧諸国との経済交流の必要性
- ② 財政・経済問題に関し、中長期財政見通し 策定の必要性、国の中期財政展望との関連、 予算と経済見通しの同時発表の必要性、経済

調査室の充実化

- ③ 江別総合病院問題に関し、地域医療計画上の問題点の有無、再建計画の事前協議の充分性、労使関係の実情と病院再建への危惧
- ④ 私立学校問題に関し、私学監督に対する基本的姿勢、歯誠学園の寄附金等に係る事実関係の確認と今後の対処について

質問があり、知事から答弁。 小田原 要四蔵 議員(社会)から再質問、知事から答弁調整のため時間を要する旨の発言があって午前11時50分休憩、午後2時6分再開。知事から休憩前の小田原議員の再質問に対する答弁。 小田原議員から 再再質問 があり、 知事から答弁。ついで、

舟山 広治議員(社会)から、

- ① 文化行政に関し、文化行政に対する知事の 視点と展開、文書館の文化行政における位置 づけ及び設立に向けてのこれまでの作業経過 と今後の対処策、道史編集所の業務継続の検 討
- ② 農業問題に関し、水田の転作、生乳の計画 生産等の事態と発展計画との関連、減反配分 と地域別農業経営指標との関連、道産米の低 評価に対する見解、生乳検査協会の検査手数 料・検査体制及び乳質改善指導業務体制、生 乳代金の精算方法、転作農家の実態と経営指 導の現況、農業改良普及行政についての勧告 の受けとめ方と対処策
- ③ 老人福祉問題に関し、老人福祉施設の充実 強化についての知事の基本的姿勢、老人保健 法案等からみた国の動きに対する考え、療護 型の特養施設の充実策、福祉施設の設置主体 のあり方についての見解、静和園廃止に伴う メリットと入所者に対する対応
- ④ 韓国型出血熱による死亡事故に関し、韓国型出血熱の伝染経路と発生実態及び施設上の問題点、動物実験室の独立整備への取り組み、実験用動物に対する今後の対処策、死亡職員に対する公務災害補償と遺族に対する配慮について

質問があり、知事から答弁。舟山広治議員(社会)から再質問、知事から答弁。議事進行の都合によりあらかじめ会議時間を延長し、午後4時7分休憩、午後510時分再開。知事から休憩前の舟山議員の再質問に対する補足答弁。舟山議員から再再質問、知事から答弁があって、午後5時26分延会。

○3月18日 (水) 午前10時24分開議、諸般の報 告の後、

日程第1 議案第1号ないし第54号及び第56 号ないし第69号を譲避とし、質疑並びに一般質 間を継続、

保格 博夫議員(社会)から、

- ① 環境保全問題に関し、アセスメント完了後のアフターフォローに対する考え方、苫東石油備蓄基地に係る活断層の実態把握と安全対策等についての見解、ばいじん排出量からみた苫東厚真発電所2号機の機能、廃棄物軽減対策についての見解、水銀等重金属への対策、酸性降雨の測定についての見解、札内川ダムに係るダムの機能と発電の規模、ダムの位置及び上流地点の場合の道路ルート変更の検討状況、ダムの実施計画調査と計画作成の時期等、水道水中のトリハロメタンの実態調査内容及び監視対応能力
- ② 教護院の整備に関し、向陽学院の整備について札幌市の動向を含めての検討内容
- ③ 教育問題に関し、私学助成の政策的効果、 56年度授業料引き上げ状況、公私立間の格差 是正についての基本的見解、私学の定員割れ と高校配置計画との関連、具体的な私学助成 策、生徒減に対する特別対策確立の必要性、 公立学校の危険校舎改築に係る国の耐力度点 数特例措置の傾向と実態、特例措置が廃止さ れた場合の影響と継続努力及び道費助成の基準 え方、高校屋内体育館整備に当って国の基準 との対比と具体的な整備構想、道立高校の問 口増・不燃化改築に要する財政上の見込み 額、発展計画の進学率達成に要する間口増と 財政見通し等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。保格博夫議員(社会)から再質問、知事から答弁調整のため時間を要する旨の発言があって午前11時34分休憩、午後3時15分再開。知事及び教育長から休憩前の保格議員の再質問に対する答弁の後、保格議員から再再質問、知事から答弁の後、渋谷澄夫議員(社会)から、的確な答弁を求める旨の発言があり、議事進行の都合により、午後3時50分休憩、午後4時46分再開し直ちに延会。

○3月19日(木) 午前10時51分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第54号及び第56

号ないし第69号を議題とし、質疑並びに一般質問を継続、知事から昨日の保格博夫議員(社会)の再再質問に対する補足答弁の後、

小田部 善治議員(道政)から、

- ① 社会教育の振興に関し、生涯教育に係る学 習機会の具体的充実方策、指導者の養成確保 策、社会教育施設の現状と整備促進に対する 考え、社会教育センター設置への取り組み
- ② 文化の振興に関し、地方文化会館の設置状況と整備促進についての考え、文化財の保存保護に対する基本的な考え方、オホーツク海沿岸地域における北方先住民族に係る資料の保存・展示施設の整備の必要性
- ③ スポーツの振興に関し、道民のスポーツへの参加状況と施策及び今後の推進策、多目的総合型住民プール設置についての考え、全天候多目的スタジアム建設に対する知事の決意、スポーツ振興計画策定についての経過と見通し、体育指導員の活動現況と処遇の改善及び研修機会の確保、スポーツ担当の派遣社会教育主事制度の存続及び拡充についての考えについて

質問があり、知事及び教育長から答弁。ついで、

中川 隆之議員(道政)から、

- ① 水産問題に関し、米国2百海里水域内における日本のサケ・マス漁業操業に際してのイルカの混獲規制への取り組み、本道日本海地域沿岸漁業の所得向上に対する基本的見解、栽培漁業の振興方策、サクラマスの資源増大についての考え、害魚駆除及び保護水面の管理への取り組み
- ② 福祉問題に関し、社会福祉法人の施設整備 資金に係る財政事情と運営に対する考え方、 社会福祉法人の経営基盤充実に対する所見、 社会福祉法人の設立認可に当っての取り扱い、自閉症児施設の整備計画、自閉症児の療 育に当たる職員の養成確保対策、今後の自閉 症児対策の推進についての考えについて

質問があり、知事から答弁。中川隆之議員(道政)から要望及び意見があり、議事進行の都合により午後零時7分休憩、午後1時16分再開、ついで、

工藤 啓二議員(公明)から、

① 農業問題に関し、複合農家の安定育成策と 肉用牛の振興に対する考え、てん菜の生産振 與と原料処理に対する考え、酪農経営の現状 に対する認識及び金融対策等についての国へ の働きかけ、農業に対する理解を深めるため の体験的学習の必要性、都市近郊学校の学童 農園設置の検討、農業体験実習等の施設利用 と整備についての見解

- ② 開発問題に関し、既存工業団地と今後における工業団地開発についての基本的見解、工業団地造成利子補給制度への取り組み、工業団地の他用途への転換についての見解、道住宅供給公社保有地の南の里団地の利用計画、道土地開発公社保有地の処分見通し
- ③ 防災対策に関し、融雪災害対策への取り組み、なだれ等による道路の防災対策への取り組み、有珠山周辺の防災対策の進捗状況と今後の対策、樽前山の防災対策への取り組み
- ④ 交通安全対策に関し、青少年による事故死 増加の傾向に対する認識と対策、高校生に対 する免許の取得及び運転の規制についての見 解、高校生の事故防止のための指導の徹底に ついて

質問があり、知事及び教育長から答弁。工藤啓二議員 (公明)から再質問、知事から答弁があって質疑並び に一般質問を終結。ついで、

寺崎政朝議員(自民)から、予算に関する議 案第1号ないし第17号、第22号、第37号、第43 号ないし第54号及び第57号ないし第64号の各案 件について、本議会に52人をもって構成する予 算特別委員会を設置し、これらの案件を付託さ れたい旨の動議を提出、 賛成があって 動議成 立、これをはかって異議なく決定。動議にかか わる各案件は予算特別委員会に付託し、次の委 員(配付名簿のとおり)を議長指名により選 任。残余の案件は、議案付託一覧表のとおりそ れぞれ所管の常任委員会に付託した。

〇予算特別委員(52人)

岩田 徳弥(自民) 小田原要四蔵(社会) 巖(社会) 字川 源吉(自民) 樫林 高木 繁光(自民) 神本 三也(社会) 伊藤 弘(自民) 寺崎 政朝(自民) 中崎 昭一(自民) 木本 由孝(自民) 佐々木行雄(自民) 伊藤 豪(道政) 高田 忠雄(道政) 高橋 康之(自民) 野村 權作(自民) 小田部善治(道政)

勝木 省三(道政) 平野 明彦(自民) 中川 隆之(道政) 古川 靖晃(自民) 土屋 良三(自民) 和田 勝之(自民) 保(自民) 字野 真平(自民) 久田 松本 勇(自民) 大平 秀雄(自民) 水岡 薫(自民) 小沢 栄吉(自民) 山口 置人(自民) 武部 勤(自民) 吉川 貴盛(自民) 鈴木 誠二(社会) 青山 正男(自民) 舟山 広治(社会) 関根 建二(社会) 藤井 虎雄(社会) 長岡 寅雄(社会) 本間喜代人(共産) 萩上 元春(社会) 高橋 鉱(公明) 吉野 之雄(社会) 星野 健三(社会) 工藤 啓二(公明) 水沼徳一郎(自民) 柳谷 正一(公明) 村上 彝明(自民) 米村 邦敏(社会) 若狭 靖(自民) 輪島 幸雄(社会) 東 典俊(自民) 岩崎 守男(社会) 高橋正四郎(自民)

議事進行の都合により、あらかじめ会議時間 を延長し、午後2時27分休憩、午後7時10分再 開、諸般の報告の後、

追加日程 議案第57号ないし第66号を議題と し、水沼徳一郎予算特別委員長(自民)から議 案第57号ないし第64号について、能谷克治文教 林務委員長(社会)から議案第65号について、 舟山広治総務副委員長(社会)から議案第66号 について、それぞれ委員会における審査の経過 と結果について報告の後、鈴木誠二議員(社会) ほか27人提出の議案第57号に関する修正案の趣 旨説明を行い、討論に入り、本間 喜代人 議員 (共産)から議案第57号の修正案にかかわる部 分を除く残余の部分並びに議案第63号、第64号 及び第66号について反対討論があって、討論終 結。ついで、採決に入り、鈴木誠二議員ほか27 人提出の修正案を問題とし、起立採決の結果、 起立少数(自民、道政、公明反対)をもってこ れを否決。

次に、議案第57号のうち、修正案にかかわる 原案部分を問題とし、起立採決の結果、起立多 数(社会、共産、無所属反対)をもって委員長 報告のとおり原案可決。次に、議案第57号のう ち、すでに決定した部分を除く残余の部分を問 題とし、起立採決の結果、起立多数(共産反 対)をもって委員長報告のとおり原案可決。次 に、議案第63号、第64号及び第66号を問題とし、起立採決の結果、起立多数(共産反対)をもって委員長報告のとおり原案可決。次に、議案第58号ないし第62号及び第65号を問題とし、 異議なくいずれも委員長報告のとおり原案可決。次に、

追加日程 昭和55年における異常気象による 冷害対策の件を議題とし、高橋正四郎冷害対策 特別委員長(自民)から委員会における調査の 経過と結果について報告の後、異議なく委員長 報告をもって本件調査は終了することに決定。 次に、

追加日程 意見案第3号を議題とし、提出者 の説明及び委員会付託を省略のうえ、異議なく 原案のとおり可決。

次に、各委員会付託議案審査のための休会についてはかり、異議なく3月20日から3月26日まで休会することに決定して、午後7時35分散会。

予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました案件の うち、ただいま議題となりました議案第57号ない し第64号につきまして、その審査の経過と結果に ついて御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、本日、設置され、今次提案にかかわる昭和56年度各会計予算及び関連議案を含め31件並びに昭和55年度各会計補正予算8件が付託されたのでありますが、本委員会といたしましては、本日、直ちに正・副委員長の互選を行いますとともに、議案審査の方法等にいて協議をいたしました結果、ただいま議題となっております昭和55年度各会計補正予算につきましては、年度末も切迫しておりますことから、これを先議することに決定し、残余の案件につきましては、分科会方式により審査を行うこととし、3分科会の設置を決定した次第であります。

しかして、昭和55年度各会計補正予算につきましては、本日、委員会を開き、慎重に審査を行った次第でありますが、質疑の主なものを申し上げますと、

生活保護費減額の理由と生活保護者数の動向、

東苦住宅団地開発事業の見通し、道立病院の廃止と市町村移管及び道の医療行政の基本的考え方、 国直轄事業負担金計上の理由と内容、補正予算編成のあり方と基金積立金の考え方、農業開発公社の事業発注のあり方と道の指導、俱知安町大和地区における土地取引の国土利用計画法違反に関する見解、特別生活資金貸付事業の問題点及び今後のあり方、季節労働者の地元就労と財政援助対策、音更町の不適正な起債に係る財政運営のあり方など、予算編成及び道政執行上の諸問題について活発な論議が交わされた次第であります。

質疑終結後、各派代表者間におきまして、各案件について意見の調整を図ってまいりましたが、 議案第57号、第63号及び第64号につきましては、 意見の一致を見るに至らず、本日の委員会において、議案第57号につきましては、鈴木誠二君外13 人から修正案が提出され、採決の結果、賛成者少数をもって否決せられ、したがいまして、議案第57号は、原案可決、その他の案件、議案第63号及び第64号は、賛成者多数をもって原案可決、議案第58号ないし第62号は、全会一致、原案可決と決定した次第であります。

なお、議案第57号につきましては、少数意見が 留保されておりますことを申し添えます。

以上、本委員会において先議いたしました議案の審査経過と結果を申し上げた次第でありますが、昭和56年度各会計予算及びこれに関連する議案につきましては、速やかに審査を行い、後日、御報告申し上げたいと存じます。

これをもって、私の報告を終わります。

O3月27日(金) 午後1時36分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第70号を議題とし、知事から 提案説明の後、総務委員会に付託することに異 議なく決定。ついで、

日程第2 請願・陳情審査の件を議題とし、 委員長報告を省略のうえ、いずれも異議なく委 員会決定(採択4件)のとおり決定して、午後 1時39分散会。

○3月28日(土) 午後4時41分開議、議事進行 の都合により、あらかじめ会議時間を延長のう え午後4時42分休憩、午後11時37分再開。諸般の報告(議案第1号に関する修正動議の提出、伊藤豪議員(道政)から本日付をもって文書質問承認要求書の提出、同日、議長承認並びに教育長から答弁書の提出など)の後、議長から、川崎守議員(共産)の3月16日の本会議における発言の一部取消しの申し出についてはかり、異議なく許可することに決定。ついで、

日程第1 議案第1号ないし第40号、第42号ないし第54号、第56号及び第67号ないし第70号を議題とし、水沼徳一郎予算特別委員長(自民)から議案第1号ないし第17号、第22号、第37号及び第43号ないし第54号について、小笠原孝水産委員長(自民)から議案第18号及び第32号について、熊谷克治文教林務委員長(社会)から議案第19号及び第33号ないし第36号について、それぞれ委員会における審査の経過と結果について報告の後、議事進行の都合により日程第1の議事中止。ついで、

追加日程 会期延長の件を議題とし、会期を 3月29日まで1日間延長することに異議なく決 定。ついで、残余の日程を延期し延会すること とし、明29日は休日であるが、議事の都合によ り特に零時5分に繰り上げ、会議を開くことに 決定して、午後11時50分延会。

予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案のうち、さきに御報告申し上げました先議案件を除く議案第1号ないし第17号、第22号、第37号及び第43号ないし第54号の31件につきまして、その審査の経過と結果について御報告いたします。

これらの議案の審査方法につきましては、去る3月19日の委員会におきまして協議の結果、各部所管に対する審査については、分科会方式によりこれを行うこととし、直ちに3分科会を設置し、それぞれの案件を付託した次第であります。

各分科会におきましては、同日、直ちに分科 正副委員長の互選を行った結果、第1分科会 は、委員長に平野明彦君、副委員長に神本三也 君、第2分科会は、委員長に米村邦敏君、副委員長に水岡薫君、第3分科会は、委員長に宇川源吉君、副委員長に関根建二君を選出するとともに、審査の方法等について協議を行い、23日から各部所管の審査に入り、本日をもって一切の質疑を終了し、先ほどの委員会において各分科委員長より分科会における審査経過の報告書が提出された次第であります。

御承知のとおり、今回付託されました案件は、昭和56年度一般会計及び特別会計を合わせ、総額1兆6千4億5,500万余に及ぶ予算並びにこれに関連する議案でありまして、これらの案件を中心に道政各般にわたり熱心な質疑応答が交わされた次第であります。

なお、各分科会における質疑の概要につきましては、別紙お手元に配付の報告書により御承 知願いたいと存じます。

本委員会におきましては、引き続き各分科会において質疑保留となった事項につきまして、本日、総括質疑を行い、付託案件に対する一切の質疑を終結した次第でありますが、その総括質疑の主なるものを申し上げますと、農業試験場等の整備について、発展計画におけるエネルギー指標に関する問題について、ラムサール条約批准後の釧路湿原保護について、行政改革について、公害防止協定と環境保全について、保安林の指定解除についてなどであります。

質疑終結後、各派代表者間におきまして、各 案件について意見の調整を図ってまいりました が、議案第1号、第14号ないし第17号、第37号 及び第45号につきましては、意見の一致を見る に至らず、本日の委員会において、議案第1号 につきましては、樫林巖君外17人から修正案が 提出され、採決の結果、賛成者少数をもって 提出され、「社会の他の案件、議案第1号ないし第17 号、第37号及び第45号は、賛成者多数をもって 原案可決、議案第2号ないし第13号、第22号、 第43号、第44号及び第46号ないし第54号は、全 会一致、原案可決と決定した次第であります。 なお、議案第1号につきましては、少数意見 が留保されておりますことを申し添えます。

以上、本委員会に付託されました議案の審査 経過と結果を申し上げたのでありますが、委員 各位におかれましては、連日、慎重かつ御熱心 に審議を尽くされた次第でありまして、その御 労苦に対し、衷心より敬意を表する次第であり ます。

これをもって、私の報告を終わります。

O3月29日(日) 午前零時12分開議、諸般の報 告の後、

日程第1 議案第1号ないし第40号、第42号ないし第54号、第56号及び第67号ないし第70号を議題とし、伊藤知則総務委員長(自民)から議案第20号、第21号、第23号、第24号、第38号ないし第40号及び第67号ないし第70号について、宇野真平厚生委員長(自民)から議案第25号ないし第30号について、池島信吉商工労働委員長(社会)から議案第31号について、水沼徳一郎建設委員長(自民)から議案第42号及び第56号について、それぞれ委員会の審査の経過と結果について報告の後、

渋谷澄夫議員(社会)ほか35人から提出の議 案第1号に関する修正案について趣旨説明を行 い、討論に入り、平野明彦議員(自民)から議 案第1号の修正案に関する反対討論、工藤啓二 議員(公明)から議案第1号の修正案に関する 賛成討論、本間喜代人議員(共産)から議案第 1号の修正案にかかわる部分を除く残余の部分 並びに議案第14号ないし第17号、第37号及び第 68号ないし第70号に関する反対討論があって討 論終結。

ついで、採決に入り、まず、渋谷議員ほか35 人提出の議案第1号に関する修正案を問題と し、起立採決の結果、起立少数(自民、道政反 対)をもってこれを否決。次に、議案第1号の うち、修正案にかかわる原案部分を問題とし、 起立採決の結果、起立多数(社会、公明、共産、 無所属反対)をもって委員長報告のとおり原案 可決。次に、議案第1号のうち、すでに決定し た部分を除く残余の部分を問題とし、起立採決 の結果、起立多数(共産反対)をもって委員長 報告のとおり原案可決。次に、

議案第14号、第32号及び第45号を問題とし、 起立採決の結果、起立多数(社会、公明、共産、 無所属反対)をもって委員長報告のとおり原案 可決。次に、

議案第68号及び第69号を問題とし、起立採決の結果、起立多数(社会、共産、無所属反対)をもって委員長報告のとおり原案可決。次に、

議案第15号ないし第17号、第37号及び第70号 を問題とし、起立採決の結果、起立多数(共産 反対)をもって委員長報告のとおり原案可決。 次に、

議案第2号ないし第13号、第18号ないし第31号、第33号ないし第36号、第38号ないし第40号、第42号ないし第44号、第46号ないし第54号、第56号及び第67号を問題とし、いずれも異議なく委員長報告のとおり原案可決。ついで、

日程第2 議案第71号を議題とし、知事から 提案説明があり、委員会付託を省略のうえ、起 立採決の結果、起立多数(社会、共産、無所属反 対)をもって原案のとおり同意議決。ついで、

日程第3 意見案第4号を議題とし、提出者 の説明及び委員会付託を省略のうえ、異議なく 原案のとおり可決。ついで、

日程第4 請願審査の件を議題とし、委員長報告を省略のうえ、いずれも異議なく委員会決定(採択5件)のとおり決定。ついで、

閉会中議案第41号及び前会より継続審査中の報告第2号継続審査の件を議題とし、異議なく厚生委員長及び決算特別委員長から申し出のとおり、閉会中継続審査に付することに決定。次に、閉会中請願・陳情継続審査及び事務継続調査の件を議題とし、異議なく各常任委員長並びに公害対策特別委員長から申し出のとおり、閉会中継続審査または調査に付することに決定して、今期定例会に付議された案件は、議案第41号及び前会より継続審査の報告第2号を除きすべて議了。西尾六七議長から閉会に当たってのあいさつがあって、午前1時19分閉会。

第1回定例会において知事から提出のあった案件

議 案

提出月日	番号	件 名	付 託 委員会	議決月日	議事結果
2. 24	1	昭和56年度北海道一般会計予算	予算特別	3. 29	原案可決
同	2	昭和56年度北海道札幌医科大学附属病院特别会計予算	同	同	[17]
同	3	昭和56年度北海道母子福祉資金貸付事業特別会計予算	间	间	同
间	4	昭和56年度北海道寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算	同	同	[ii]
[司	5	昭和56年度北海道小児総合保健センター事業特別会計予算	[1]	[ii]	同
同	6	昭和56年度北海道農業改良資金貸付事業特別会計予算	间	[17]	间
同	7	昭和56年度北海道林業改善資金貸付事業特別会計予算	同	闻	同
同	8	昭和56年度北海道沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	9	昭和56年度北海道中小企業近代化資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
间	10	昭和56年度北海道地方競馬特別会計予算	同	同	同
同	11	昭和56年度北海道病院事業会計予算	同	同	同
同	12	昭和56年度北海道有林野事業会計予算	间	同	同
同	13	昭和56年度北海道北広島団地開発事業会計予算	同	间	同
同	14	昭和56年度北海道工業団地開発事業会計予算	同	同	同
同	15	昭和56年度北海道電気事業会計予算	同	同	同
同	16	昭和56年度北海道工業用水道事業会計予算	同	间	同
同	17	昭和56年度北海道有料道路事業会計予算	同	同	同
间	18	北海道水産業振興審議会条例案	水産	同	[1]
同	19	北海道林業振興審議会条例案	文教林務	同	同
同	20	北海道市町村振興基金条例の一部を改正する条例案	総務	同	间
副	21	札幌医科大学条例等の一部を改正する条例案	同	同	同
同	22	北海道職員等の定数に関する条例の一部を改正する条例条	予算特別	同	同
间	23	北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	総務	同	同
同	24	北海道土地開発基金条例の一部を改正する条例案	` 同	同	同
同	25	北海道児童福祉施設設置条例の一部を改正する条例案	厚 生	同	同
同	26	北海道保母修学資金貸付条例の一部を改正する条例案	间	[11]	同
同	27	北海道医学及び歯学修学資金貸付条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	28	理学療法士及び作業療法士修学資金貸付条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	29	北海道立衛生学院等看護職員課程修学資金貸付条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	30	北海道看護職員養成修学資金貸付条例の一部を改正する条例案	闻	同	同
同	31	北海道屋外広告物条例の一部を改正する条例案	商工労働	同	同
同	32	北海道水産物検査条例の一部を改正する条例案	水 産	同	同

提出月日	番号	件名	付 託 委員会	議決月日	議事結果
2. 24	33	北海道有林野条例の一部を改正する条例案	文教林務	3. 29	原案可決
同	34	北海道立学校設置条例の一部を改正する条例案	同	[11]	间
同	35	北海道立教育研究所条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	36	北海道公立学校の学校医、学校歯科及び学校薬剤師の公務災害補償に関する 条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	37	北海道地方警察職員の定員に関する条例の一部を改正する条例案	予算特別	[17]	同
[ப]	38	警察官の職務に協力援助した者の災害給付に関する法律施行条例の一部を改 正する条例案	総務	闻	同
同	39	風俗営業等取締法施行条例の一部を改正する条例案	同	[11]	同
同	40	北海道史編集審議会条例を廃止する条例案	间	间	[4]
同	41	北海道立静和園条例を廃止する条例案	厚 生	间	継続審査
问	42	北海道大麻団地開発事業特別会計条例を廃止する条例案	建 設	[17]	原案可決
同	43	財団法人地震予知総合研究振興会に対する出資の件	予算特別	閘	同
同	44	財団法人北方閥交流基金に対する出資の件	同	[4]	[17]
同	45	総合研究開発機構に対する出資の件	同	闻	同
同	46	石狩東部広域水道企業団に対する出資の件	同	同	同
同	47	財団法人北海道環境衛生営業指導センター(仮称)に対する出資の件	同	[6]	[11]
同	48	社団法人北海道中小企業振興基金協会に対する出資の件	同	[11]	[ti]
同	49	北海道農業信用基金協会に対する出資の件	同	[11]	同
同	50	社団法人北海道畜産物価格安定基金協会に対する出資の件	同	[11]	同
同	51	社団法人家畜改良事業団に対する出資の件	同	同	同
同	52	財団法人北海道勤労者福祉協会(仮称)に対する出資の件	[11]	[司]	间
同	53	日本下水道事業団に対する出資の件	同	[1]	同
同	54	宝くじの発売に関する件	同	同	同
同	55	河川法に基づく一級河川の指定等についての意見に関する件	建設	3. 14	同
同	56	財産の処分(建物、岩見沢市東町・幌向町)に関する件	同、	3. 29	同
3. 7	57	昭和55年度北海道一般会計補正予算(第8号)	予算特別	3. 19	同
同	58	昭和55年度北海道中小企業近代化資金事業特別会計補正予算(第2号)	同	同	同
同	59	昭和55年度北海道大麻団地開発事業特別会計補正予算(第1号)	同	同	间
同	60	昭和55年度北海道病院事業会計補正予算(第3号)	同	11	. 闻
同	61	昭和55年度北海道有林野事業会計補正予算(第3号)	同	间	[ri]
同	62	昭和55年度北海道北広島団地開発事業会計補正予算(第2号)	[4]	间	同
同	63	昭和55年度北海道工業団地開発事業会計補正予算(第3号)	同	同	同
同	64	昭和55年度北海道電気事業会計補正予算(第2号)	同	同	同
同	65	財産の取得(北海道木古内高等学校施設ほか10件)に関する件	文教林務	[11]	间
同	66	財産の処分(土地、勇払郡厚真町字共和88番地9ほか49筆)に関する件	総務	同	间

提出月日	番号	件	名	付 託 委員会	議決月日	議事結果
3. 10	67	北海道職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の	一部を改正する条例案	総務	3. 29	原案可決
同	68 北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案		同	同	[4]	
间	69	北海道地方警察職員の特殊勤務手当に関する条例	の一部を改正する条例案	同	同	同
3. 27	3.27 70 北海道知事等の給与等に関する条例等の一部を改正する条例案		正する条例案	同	间	同
3. 28	71	北海道副知事の選任につき同意を求める件			同	同意議決

報 告

提出月日	番号	件	名	付 託 委員会	議決月日議事結	果
2. 24	1	専決処分報告の件(損害賠償の額の決定、	2月10日3件専決処分)	ı	報告の	ー. み!

第1回定例会において議員から提出のあった案件

意 見 案

提出月日	番号	件 名	‡	是 出	者	議決月	日	議事結果
2. 24	1	昭和56年度畜産物価格等に関する要望意見書	武治	勤議員	ほか12人	2. :	24	原案可決
同	2	国鉄地方交通線の確保に関する要望意見書	伊斯	秦知則議員	ほか 13人	同		同
3. 19	3	さけ・ます漁業の安定に関する要望意見書	石间	奇喜太郎諭	員ほか 11人	3.	19	同
3. 28	4	社会保険に関する事務とこれに従事する職員の身分 体に移管することに関する要望意見書	分を地方自治 伊藤	※知則議員	ほか 13人	3. :	29	同

修正動議

提出	出月 F	日		件 ————————————————————————————————————	名	提	出	者	議決月	日	議事結果
3	. 19	9	議案第57号 修正動議	昭和55年度北海道一般会計補正予算	算(第8号)に対する	鈴木誠	二議員	ほか 27人	3.	19	否 決
3	. 28	3	議案第1号	昭和56年度北海道一般会計予算に対	対する修正動議	渋谷澄	夫議員	ほか 35人	3. :	29	同

懲罰動議

提出月日	件	名	提	出	者	処理月日	処理結果
3. 5	武部勤議員に対する懲罰動議		星野健	三議員	ほか 29人	3. 6	取り下げ

前会から継続審査中の案件

議 案

提出月日	番号	件	名	│ 付 計 委員会		議事結果
55.12.9	13	北海道病院事業条例の一部を改正する条例案		厚生	56.2.24	原案可決
同	18	北海道原料乳検査条例を廃止する条例案	-	農務	同	同

報 告

提出月日	番号		件	名	付 託 委員会	議決月日	議事結果
55.12.9	2	昭和54年度	北海道各会計歳入歳出決算に関する件		決算特別	56.3.29	継続審査

意見案第1号

(武部 勤議員ほか12人提出) 2月24日 原案可決

昭和56年度畜産物価格等に関する要望意見書

本道の酪農・畜産は、わが国の主要な生産基地としての役割りを担うとともに、地域経済を支える基幹産業として、生産性の高い健全な経営の確立に関係者あげて最大の努力を重ねてきたところである。

しかしながら、最近の酪農・畜産をめぐる情勢は、畜産物価格の据え置きや低迷の中で、 計画生産の実施、配合飼料等、生産資材の高騰、農畜産物の輸入外圧の増大などにより、畜 産経営は、急迫かつ極度に悪化しており、生産者は、その前途に大きな不安を抱いている現 状にある。

したがって、国は、本道の酪農・畜産が当面するこれらの諸問題を早期に解決し、将来に その展望を開くことができるよう、左記事項の実現について強く要望する。

記

- 1. 昭和56年度畜産物価格の設定について
 - (1) 加工原料乳保証価格の設定に当たっては、配合飼料等生産資材の高騰などにより、悪化している本道の酪農経営の実態を十分勘案した価格とすること。
 - (2) 指定食肉価格等の設定に当たっては、本道の肉畜生産の環境が悪化し、経営が不安定となっている実態を十分勘案した価格とすること。

また、安定価格を下回った場合は、速やかに食肉の買い上げ等の措置を講ずること。

2. 加工原料乳限度数量枠の拡大について

加工原料乳限度数量の設定に当たっては、輸入規制等の措置により、その枠の拡大を図るとともに、その配分に当たっては、加工原料乳を主体としている本道の実情を十分勘案すること。

3. 肉用牛牛産振興対策の拡充について

今後の発展作目として期待されている肉用牛の積極的な生産振興を図るため、子牛生産 奨励対策の継続など専用種生産体制の整備強化と、特に収益性が低下している乳用牛雄子 牛肥育経営における肥育素牛価格の安定を図るための必要な措置を講ずること。

4. 生乳需給均衡の早期回復について

生乳需給均衡の早期回復を期するため、過剰在庫の解消、擬装乳製品に対する輸入規制などの措置を講ずるとともに、国産ナチュナルチーズ生産振興対策の早期実現を図ること。

5. ロングライフミルクの常温流通の実現について

牛乳、乳製品の消費拡大対策の一環として、特にロングライフミルクの道内における常 温流通を可能とする措置を講ずること。

6. 金融対策の推進について

本道の酪農・畜産経営は、三年連続の乳価据え置きと計画生産、飼料等、生産資材の高騰などにより、その経営は著しく悪化している。

このため、既借入金借換措置及び特別な長期低利資金の融通、または償還 猶予 措置 など、抜本的な金融対策を講ずること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 西 尾 六 七

内閣総理大臣、大蔵大臣 各通 厚生大臣、農林水産大臣

意見案第2号

(伊藤知則議員ほか13人提出) 2月24日 原案可決

国鉄地方交通線の確保に関する要望意見書

本道は、広大な土地や豊富な資源に恵まれ、わが国において最も発展の可能性に富んだ地域であり、今後、開発の進展に伴って輸送需要の増加が見込まれるなど、公共輸送の基幹をなす国鉄の果たす役割りは将来とも大きく、その整備強化が必要とされている。

しかし、政府は、「日本国有鉄道経営再建促進特別措置法」の成立に伴い、輸送需要の少ない国鉄地方交通線はバス輸送等に転換することとして政令基準の検討を行っているが、鉄道網の過半を地方交通線で占め、面積が広く積雪寒冷という地理的、自然条件にある本道の実態から、道内諸地域の住民生活や産業経済活動に大きな影響を与えるとともに、地方に過大な負担を強いることになるので、地域の実態に十分配意する必要があり、赤字解消効果の極めて薄い地方交通線の廃止が画一的、一方的に実施されることは、沿線住民や道民にとって納得し難いところである。

よって政府においては、総合交通体系を早急に確立するとともに、国鉄再建法に基づき積極的な経営改善計画を速やかに樹立し、しかる後、地方交通線対策には慎重に対処するよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 西 尾 六 七

内閣総理大臣、大蔵大臣、運輸大臣 } 各通 自治大臣、北海道開発庁長官

意見案第3号

(石崎喜太郎議員ほか11人提出) 3月19日 原案可決

さけ・ます漁業の安定に関する要望意見書

北洋さけ・ます漁業は、水産加工業等関連産業を含め本道の社会経済の発展に大きく寄与 しており、この漁業に対する全道民の関心は極めて強いものがあります。

200海里設定後、昭和53年に日ソ漁業協力協定が締結されて以来、政府をはじめ関係者の努力にもかかわらず、さけ・ます漁業の漁獲量、操業期間及び操業海域等について大幅な規制が加わってきているほか、漁業協力費についても逐年増額をされております。

このような厳しい情勢のなかで、最近における燃油及び関連資材等の高騰は、さけ・ます 漁業の経営悪化を招いており、関係漁業者は、経営維持のために懸命の努力をしている状況

にあります。

以上のような事情について十分ご賢察のうえ、北洋さけ・ます漁業の操業が確保され、その安定が図られるよう次の事項について要望いたします。

記

- 1. 本年の日ソさけ・ます漁業交渉の早期開催と早期妥結
- 2. 母船式さけ・ます漁業のイルカ混獲問題の解決による操業の確保 右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 西 尾 六 七

内閣総理大臣、外務大臣 } 各通 農林水産大臣

意見案第4号

(伊藤知則議員ほか13人提出) 3月29日 原案可決

社会保険に関する事務とこれに従事する職員の身分を地方自治体に移管することに関する要望意見書

健康保険、厚生年金保険、国民年金などの社会保険行政に関する事務は、都道府県知事に 機関委任されており、これらの事務に従事する職員は、知事の指揮監督を受けることとされ ているが、地方自治法附則第8条の「政令で定める職員は、当分の間官吏とする」との暫定 規定により「地方事務官」とされている。

このように、社会保険行政にたずさわる職員は、本来、都道府県職員であり、業務面では 知事の指揮監督を受けながら、人事及び給与面では国の指揮監督を受けるという変則的な立 場におかれており、30余年の長い間、一般の都道府県職員との間に、人事、給与、勤務条件 等について差異がある。

社会保険行政は、社会保障制度の主要な分野として、住民生活に不可欠のものであり、これを真に地域住民の生活に直結した制度として確立するためには、この事務を都道府県に移管し、職員の身分は地方公務員とすることが最善の方法であると確信し、左記事項の実現につき、所要の措置が講ぜられるよう強く要望する。

īĽ

- 1. 社会保険行政は、都道府県の事務とし、社会保険事務所を都道府県の行政機関とすること。
- 2. 社会保険行政に従事する職員の身分を地方公務員とすること。
- 3. この措置についての財源保障を行うこと。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 西 尾 六 七

内閣総理大臣、大蔵大臣、厚生大臣 } 各通 自治大臣、行政管理庁長官

— 22 -

請願・陳情

① 第1回定例会において各常任・特別委員会に付託されたもの。

請 願

文書表番 号	件	名	請	願	者	付委	託員会	審査	
107	特別養護老人ホーム増設の件		滝川市長	吉岡清栄	ほか2人	厚	生	継続	審査
108	季節労働者の冬期間の仕事の確 関する件	保と積寒給付金制度の改善に	地元で働く要求する	比海道連絡		商工	.労働	F	1
109	公立小学校、中学校、高等学校 る教育業務連絡指導手当(主任 児童・生徒の教育を保障する教 とをもとめる件	、障害児学校の主任等に対す手当)の予算計上を行わず、(育条件整備費用に充当するこ	札幌市中岩		:西12丁目 :野 久光	文教	休務	F	Į
110	道道上風連中西別線の改良並び	ばに舗装工事の促進に関する件	道道上風景工事促進	明成会	改良舗装 西 正視	建	設	採	択
111	農業改良普及事業の縮小に反文 件	し、事業の拡充強化を求める	自治労全中央執行		·働組合 :村 英人	農	務	継続	審査
112	社会保険行政の事務とこれに役 体へ移管を求める件	を事する職員の身分を地方自治		审		総	務	採	択
113	季節労働者の雇用確保と生活保	段節等に関する件	北海道季節		協議会 前谷 忠	商工	労働	継続	審査
114	道営白樺団地に身体障害者のた	-めの住宅の建設に関する件	さっぽろい	ハちご会 代表 小山	内美智子	建	設	採	択
115	樺太会館建設に関する件			叮9番19号 華太漁民協 会長 福		総	務	継続	審査

② 継続審査中のものであって、第1回例会において採否の決定があったもの。

請 願

文書表 番 号	件	名	付託す	5員会	審査	の結果
1	苫小牧市錦岡団地(道営住宅)の下水道整備に関する件		建	設	採	択
21	道立普通高校建設に関する件		文教林務		同	
56	道立増毛病院の町移管案の撤回並びに道立病院の拡充、強化	比を求める件	厚	生	不	採 択
70	道道上風連中西別線の舗装促進に関する件		建	設	採	択
104	北海道酪農検査所の廃止反対に関する件		農	務	不	採択

陳 情

文書表 番 号	件	名	付託委員会	審査の結果
6	道立高等学校(全日制普通科)の設置に関する件		文教林務	採 択
62	すすきの地区における環境浄化に関する件		総 務	同
63	同		同	同

③ 更に継続審査されるもの。

請 願

文書表 番 号	件名	付託委	員会
9	伏古3条4丁目交差点の信号機早期設置の件	総	務
15	道内における学生生活の条件改善等に関する件	F]
24	登別市に警察署設置の件	[iii]
72	「モーテル類似旅館」の建築規制等に関する件	П]
100	指名競争入札の執行に関する件	Ī	J
2	保育所の大量増設と産休あけ保育の実施及び無認可保育所への助成に関する件	厚	生
5	家庭用灯油の大幅値上げをやめさせ量の確保を求める件	Ē	i]
8	道立病院の拡充強化を求める件	ļī.	ij
16	道内における学生生活の条件改善に関する件	Į.]
23	国民病・B型肝炎撲滅と患者の生活保障対策の確立に関する件	[EI]
33	北海道難病センター設置の早期実現と総合的難病対策確立の件	Ē	J
35	看護学生の修学資金増額等に関する件	F]
40	道立もなみ学園の廃止案撤回と拡充強化を求める件	Įπ]
41	道立身体障害者更生指導所と重度身体障害者更生指導所の縮小統合案撤回と拡充強化を求める件	Ē]
44	道立精神薄弱者施設和光学園の廃止案撤回並びに現在地での拡充を求める件	Ī	J
45	北海道立養護老人ホーム静和闊廃止案撤回と新築・充実を求める件	F]
47	薬害スモン恒久対策に関する件	Į=]
49	保育所幼児(3~5歳)に生牛乳給食実施のための道費補助に関する件	戸]
51	道立もなみ学園の廃止案の撤回と拡充強化を求める件	[ii]
52	道立養護老人ホーム静和園の廃止案の撤回並びに新築、充実を求める件	П]
53	道立精神薄弱者施設和光学園の廃止案の撤回並びに現在地での拡充を求める件	同]
54	道立寿都病院の町移管案の撤回並びに道立病院の拡充強化を求める件	Ī]
55	道立松前病院の町移管案の撤回並びに道立病院の拡充、強化を求める件	Ħ]
57	道立夕張療養所の廃止案の撤回並びに道立病院の拡充、強化を求める件	ļū]
60	道立中央乳児院の移転・縮小案の撤回並びに現在地での新築、拡充を要求する件	Ā]
61	道立内部障害者更生指導所の美唄市への移転・縮小・統合に反対し、現在地での存続、拡充を求める件	同	
71	「モーテル類似旅館」の建築規制等に関する件	n	
75	国民健康保険に傷病手当・出産手当の実施を求める件	Ä	J
94	燈油の価格安定と福祉燈油の実施に関する件	[=]
96	家庭用燈油の政府指導価格の設定及び福祉燈油の実現に関する件	Į.]
38	精進川旧河川敷地の払い下げに関する件	建	設
69	道営住宅の敷金還付に関する件	Ē]
73	「モーテル類似旅館」の建築規制等に関する件	厚	J

文書表 番号	件名	付託委員会
74	小樽市最上町線道路拡幅に関する件	建 設
10	厚別地域の公立普通高校新設に関する件	文教林務
12	豊頃町に道立普通科高等学校新設に関する件	同
13	月寒、精進川保健保全林整備に関する件	同
14	道立普通科高校の設置に関する件	同
17	道内における学生生活の条件改善に関する件	同
25	肢体不自由児のための後期中等教育の場を旭川市内に設置する件	同
27	学費値上げをおさえ、父母負担の軽減をはかり、私学教育の充実のために大幅な公費助成を求める件	同
28	美唄養護学校の機能充実の件	同
30	道立全日制普通科高等学校設置の件	同
31	養護学校設置に関する件	同
32	公立高校の増設、小学区制の回復(都市部での総合選抜制)、私学生徒への大幅な公費助成の実 現を求める件	同
36	教職員定数改善、40人学級の早期実現を求める件	同
37	美瑛高等学校校舎改築に関する件	同
42	障害児学校寄宿舎教職員(寮母)の勤務条件改善に関する件	同
43	全日制普通課程公立高等学校新設に関する件	同
76	上士幌高等学校校舎改築に関する件	同
98	宿日直員の待遇改善に関する件	同
102	私学の学費値上げをおさえ、父母負担を軽減し、教育条件を改善するための大幅公費助成を求め る件	同
103	留萌南部地区(留萌市・増毛町・小平町)高等学校普通科間口増設に関する件	同
105	私学の学費値上げをおさえ、父母負担を軽減し、教育条件の改善と、56年・57年「ヒノエウマ」 の生徒減に対して大幅な公費助成を求める件	同
106	ゆきとどいた教育の実現をはかるための教職員加配、教育予算の増額を求める件	囯
68	合成洗剤追放に関する件	公害対策特別

陳 情

文書表 番 号	件	名	付託委	付託委員会	
26	靖国神社公式参拝に反対の件		総	務	
5	有害な合成洗剤の使用取り止めと環境汚染対策に関する件		厚	生	
10	高齢者福祉事業団に対する運営費助成の件		F	同	
19	道立和光学園の廃止反対の件		F	同	
28	身体障害者使用自動車のガソリン税の道費補助等に関する件		Ī	同	
54	老人・母子・年金生活世帯等への「福祉灯油」の実施等に関する件		1	同	
60	精神障害者の社会復帰に関する件		Ī	同	

文書表 番 号	件	名	付託会	委員会
61	道委託事業の直接契約に関する件		厚	生
59	砂利採取法違反に係る処分に関する件		商工	労働
29	道立中央農業試験場江別乙りんご試験地存続の件		農	務
31	根室馬鈴しょ原種農場存続の件		Į.	i]
3	小樽運河とその周辺の歴史的建造物の保存等に関する件		建	設
8	道道小樽港線改良工事の早期完成に関する件		同	
9	道道小樽定山溪線の通年開通に関する件		同	
13	道道小樽定山溪線の通年開通に関する件		同	
20	道道臨港線計画の抜本的再検討を求める件		同	
55	道営住宅家賃の値上げに関する件		同	
56	道営住宅家賃の値上げに関する件		同	
1	小樽運河とその周辺の伝統的石造建築物群の保存等に関する件		文教林務	
2	小樽運河とその周辺の歴史的建造物の保存等に関する件		同	
11	札幌市北区篠路町付近に公立高校の新設を求める件		同	

委員会の動き

議会運営委員会

○2月23日(月) 午後4時19分、議会運営委員 会室において開議、午後4時 27分散会

委員長 吉田 政一(自民)

- ① 総務部長から、第1回定例会提出予定案件について説明の後、議案第55号(河川法に基づく一級河川の指定等についての意見に関する件)の審議方法等について、後日協議することを了承。
- ② 委員長から、前会より継続審査の議案第13 号及び第18号の委員会審議について、審査終 了した旨報告の後、明日の本会議において議 決する扱いとすることをはかり、異議なく決 定。
- ③ 議案調査のため、2月25日から3月3日まで休会することに異議なく決定。
- ④ 代表質問の通告について、3月2日正午までとすることに決定。
- ⑤ 一般質問の順位について、従来の例により 取り進めることとし、共産党の質問順位は3 番目、質問時間は概ね25分を配慮することを 了承。通告については、3月4日正午までと することに決定。
- ⑥ 予算特別委員会について、構成は52人(自 民29人、社会14人、道政5人、公明3人、共 産1人)、分科会は3分科会各17人、正副委 員長の配分は、本委員会、第1分科会及び第 3分科会の委員長は自民、副委員長は社会、 第2分科会の委員長は社会、副委員長は自民 とすること、設置動議は自民、委員名簿の提 出は3月9日正午までとすることに決定。
- ⑦ 総務及び農務委員会において発議予定の要望意見案について、提出された場合、明日の本会議において議決する扱いとすることを異議なく了承。
- **〇2月24日**(火) 午前9時32分、議会運営委員 会室において開議、午前9時

36分散会

委員長 吉田 政一(自民)

- ① 意見案第1号及び第2号の取扱いについて、本日の本会議において議決する扱いとすることに異議なく決定。
- ② HBCの録画撮影等の申し出許可について 了承。
- ③ 本日の本会議の議事は、次の順序により取 り進めることに決定。

▽ 議事順序

(開会)

日程第1 会議録署名議員の指定 諸般の報告 元議員の逝去報告

日程第2 会期決定の件(2月24日から3 月28日まで33日間)

日程第3 議案第1号ないし第56号 道政執行方針並びに提出議案に 関する知事の説明 教育行政執行方針に関する教育 長の説明

日程第4 前会より継続審査の議案第13号 及び第18号

日程第5 請願第56号及び第104号

(日程第4及び日程第5を一括議題)

- 1 日程第5の請願第56号及び第104号 の委員長報告を省略することについて 簡易採決
- 2 日程第4の前会より継続審査の議案 第13号及び第18号に関する報告 厚生副委員長、農務委員長の報告

(討論)

- 1 舟山広治議員の前会より継続審査の 議案第13号及び第18号並びに請願第56 号及び第104号の審査結果の不採択に 関する反対討論
- 2 川口常人議員の前会より継続審査の 議案第13号及び第18号並びに請願第56 号及び第104号の審査結果の不採択に 関する賛成討論
- 3 本間喜代人議員の前会より継続審査 の議案第13号及び第18号並びに請願第 56号及び第104号の審査結果の不採択 に関する反対討論

(討論終結宣告)

(採決)

1 日程第4の前会より継続審査の議案 第13号及び第18号を問題とし委員長報 告(すべて可決)のとおり決すること について起立により採決

(社会、共産、無所属反対)

2 日程第5の請願第56号及び第104号 を問題とし請願審査報告書(いずれも 不採択)のとおり決することについて 起立により採決

(社会、共産、無所属反対)

日程第6 意見案第1号及び第2号

意見案第1号

昭和56年度畜産物価格等に関

する要望意見書

意見案第2号

国鉄地方交通線の確保に関す る要望意見書

(説明及び委員会付託省略)

(採決)

1 本件をいずれも原案のとおり決する ことについて簡易採決

議案調査のための休会日の決定 (2月25日から3月3日まで)

〇3月4日(水)午前9時33分、議会運営委員
会室において開議、午前9時
35分散会

委員長 吉田 政一(自民)

- ① 委員長から、2月24日の本会議における発言の一部について、本間喜代人議員(共産)から取消し及び訂正の申し出があった旨報告の後、本日の本会議において許可する扱いとすることに異議なく決定。
- ② 代表質問の通告(4人)について報告。本 日2人、明日2人行うことに決定。
- ③ 本日の本会議の議事は、次の順序により取 り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

議長の発言(発言取消し及び訂正申し 出)

申し出のとおり許可することについて

簡易採決

日程第1 議案第1号ないし第56号質疑並びに一般質問(代表質問2人)

○3月5日(木) 午前9時35分、議会運営委員 会室において開議、午前9時 38分散会

委員長 吉田 政一(自民)

- ① 委員長から、昨日の本会議における山家勇 議員(社会)の質疑並びに一般質問に関する 答弁の一部について、警察本部長から発言訂 正の申し出があった旨報告の後、本日の本会 議において了承することをはかり、異議なく 了承。
- ② 一般質問の通告(16人)について報告。順位については、従来の例によることとし、個人別順位を議事課長説明のとおりとすることに決定。進め方については、6日、7日、10日、11日各4人とすることに決定。
- ③ 本日の本会議について、代表質問3人行う ことに決定。
- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第56号 質疑並びに一般質問 議長の発言(発言訂正申し出)

〇3月6日(金)午前9時35分、議会運営委員会室において開議、午後3時59分散会

委員長 吉田 政一(自民)

- ① 委員長から、星野健三議員(社会)ほか29 人から議長に対し武部勤議員(自民)に対す る懲罰動議の提出があった旨報告の後、本動 議の日程上の取扱い等について、あらためて 協議することを了承。
- ② 総務部長から、追加提出予定案件について 説明。
- ③ 一般質問の通告内容等の変更について了 承。
- ④ 本日の本会議は、一般質問4人行うことに

決定。

⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。午前9時40分休憩、午後3時54分再開。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第56号 質疑並びに一般質問(一般質問 4人)

- ⑥ 議長から、懲罰動議の取扱いについて、各派会長会議等における協議経過を報告の後、 保格博夫委員(社会)から本動議を取り下げる旨の発言があって、異議なく了承。
- ⑦ 本日の一般質問は、渋谷澄夫議員(社会) までとし、川崎守議員(共産)、久田保議員 (自民)については明日行うこととすること に決定。
- ⑧ 総務部長から、休憩前の本会議における渋谷澄夫議員(社会)の質問に対する答弁について発言の後、再開後の本会議の議事は知事の補足答弁から入ることに異議なく決定。
- 〇3月7日(土) 午前9時36分、議会運営委員会室において開議、午後1時6分散会

委員長 吉田 政一(自民)

- ① 総務部長から、昨日の本会議における渋谷 澄夫議員(社会)の再質問に対する答弁準備 について、なお時間を要する旨発言があり、 午前9時37分休憩、午後1時12分再開し、総 務部長から、なお時間を要する旨発言。
- ② 総務部長から、追加提出議案について説明 の後、本日の本会議の進め方について渋谷澄 夫議員(社会)の質問途中であるので議事を 中止し、追加日程として知事の追加提案説明 を行うことをはかり、異議なく決定。
- ④ 議案第57号ないし第66号(補正予算並びに 関連議案)について、先議することをはか り、異議なく決定。なお、議案第55号を含め 先議の日程等について後日協議することを了 承。
- ⑤ 道職員の勤務時間及び休暇等に関する条例 の一部改正条例案など3件の3月10日追加提 案について了承。

- ⑥ 本日の本会議について、知事の提案説明の 後、日程を延期し延会とすることをはかり、 異議なく決定。
- ⑦ 議案調査のため、3月9日休会、10日再開 することに異議なく決定。
- ⑧ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第56号 質疑並びに一般質問

◎日程第1の議事中止

追加日程 議案第57号ないし第66号 追加提出議案に関する知事の説 明

> 議案調査のための休会日の決定 (3月9日)

○3月10日(火) 午前11時52分、議会運営委員 会室において開議、午前11時 56分散会

委員長 吉田 政一(自民)

- ① 3月6日の本会議における 渋谷 澄夫議員 (社会)の再質問に対する答弁準備について、 総務部長から準備できた旨説明の後、本日の 本会議は、知事の答弁から入ることをはかり、 異議なく決定。
- ② 総務部長から、追加提出議案について説明 の後、渋谷澄夫議員(社会)の質問終了後、 知事の追加提案説明を行うことをはかり、異 議なく決定。
- ③ 一般質問の通告取下げ及び変更について申 し出のとおり了承。
- ④ 本日の本会議について、一般質問の継続で 6人を予定とし、進行状況により協議のうえ 取り進めることを了承。
- ⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第66号 質疑並びに一般質問(1人)

◎日程第1の議事中止(資料配付)(諸般の報告)

追加日程 議案第67号ないし第69号 追加提出議案に関する知事の説

◎日程第1にあわせ、追加日程を一括議題として議事継続

質疑並びに一般質問(5人)

○3月11日(水) 午前9時35分、議会運営委員 会室において開議、午後4時 40分散会

委員長 吉田 政一(自民)

- ① 一般質問の順位、質問時間の変更申し出について了承。今後の進め方について、11日~13日各4人とすることに決定。
- ② 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。午前9時38分休憩、午後4時39分再開。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第69号 質疑並びに一般質問(一般質問 4人)

- ③ 委員長から、休憩前の本会議における輪島 幸雄議員(社会)の再再質問に対する理事者 の答弁準備について、なお時間を要する旨報 告の後、本日の本会議は、この程度にとどめ 延会することをはかり、異議なく決定。
- ④ 本間喜代人オブザーバー(共産)から、理事者の答弁調整の時間について発言があり、 総務部長から応答。
- O3月12日(木) 午前9時32分、議会運営委員 会室において開議、午前9時 37分散会

委員長 吉田 政一(自民)

- ① 昨日の本会議における輪島幸雄議員(社会) の再再質問に対する答弁準備について、総務 部長から準備できた旨発言の後、本日の本会 議は、知事の答弁から入ることをはかり、異 議なく決定。
- ② 一般質問の通告の変更申し出について了 承。
- ③ 本日の本会議について、一般質問の継続で 7人であるが、進行状況により協議のうえ、

取り進めることを了承。

④ 本日の本会議は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第69号 質疑並びに一般質問(一般質問 7人)

- ⑤ 千歳~ホノルル間国際航路開設に伴う記念 行事への議長及び知事の出席について了承。
- ○3月13日(金) 午前9時35分、議会運営委員 会室において開議、午後4時 38分散会

委員長 吉田 政一(自民)

- ① 昨日の本会議における関根建二議員(社会) の再質問に対する答弁準備について、総務部 長から準備できた旨発言の後、本日の本会議 は、知事の答弁から入ることをはかり、異議 なく決定。
- ② 議案第55号の取扱いについて、先議することとし、本日の本会議において関根建二議員 (社会)の質問終了後、委員会付託を行い、 明日の本会議で委員長報告を行い、議決する 扱いとすることをはかり、異議なく決定。
- ③ 一般質問の通告内容の変更について了承。
- ④ 一般質問の今後の進め方について、本日4 人、明日4人の予定とし、明日で終了しない 場合は、16日(月)休会し、17日から行うこ とをはかり、異議なく決定。
- ⑤ 本日の本会議について、一般質問の継続で 4 人行うことに決定。
- ⑥ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。午前9時40分休憩、午後4時37分再開。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第69号 質疑並びに一般質問(一般質問 1人)

◎日程第1のうち議案第55号を先議する ことについて簡易採決

[建設委員会付託]

○日程第1の議案第1号ないし第54号及

び第56号ないし第69号 質疑並びに一般質問(3人)

- ⑦ 委員長から、休憩前の本会議における保格博夫議員(社会)の議事進行発言の取扱いについて、速記録の反訳及び議事録精査に時間を要する旨報告の後、本日の本会議は、この程度にとどめ延会することをはかり、異議なく決定。
- O3月14日(土) 午前9時36分、議会運営委員 会室において開議、午後4時 32分散会

委員長 吉田 政一(自民)

- (1) 昨日の本会議における保格博夫議員(社会) の議事進行発言の取扱いについて、保格博夫 委員(社会)から議事録精査の状況、総務部 長から答弁準備の状況について説明。
- ② 議案第55号の取扱いについて、関根建二議 員(社会)の質問終了後、委員会付託を行い 休憩、再開後、追加日程として委員長報告を 行い、議決する扱いとすることをはかり、異 議なく決定。
- ③ 一般質問の通告内容、順位の変更申し出に ついて了承。
- ④ 本日の本会議について、一般質問の継続で 8人であるが、本日4人、17日4人行う予定 で取り進めることをはかり、異議なく決定。
- ⑤ 議案調査のため、3月16日休会し、17日再 開することをはかり、異議なく決定。
- ⑥ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。午前9時50分休憩、午後4時30分再開。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第69号

質疑並びに一般質問(1人)

◎日程第1のうち議案第55号を先議する ことについて簡易採決

〔建設委員会付託〕

(休 憩)

(開議宣告)

(諸般の報告)

◎日程第1の議事中止

追加日程 議案第55号

建設委員長の報告

(採決)

- 1 本件を委員長報告のとおり決することについて簡易採決
- ◎日程第1の議案第1号ないし第54号及び第56号ないし第69号の議事継続 質疑並びに一般質問(3人) 議案調査のための休会日の決定

(3月16日)

- ⑦ 委員長から、休憩前の本会議における岩崎 守男議員(社会)の再再質問に対する水産部 長答弁の事実確認に係る取扱いについて発言 の後、異議なく了承。本件に関連して、保格 博夫委員(社会)から、知事に代わって部長 等が答弁する場合の答弁者の検討方並びに的 確な答弁準備方について委員長から理事者に 対し申し入れされたい旨発言があって、委員 長から応答。
- 〇3月17日(火)午前9時47分、議会運営委員
会室において開議、午前9時
49分散会

委員長 吉田 政一(自民)

- ① 一般質問の順位の変更について了承。
- ② 本日の本会議について、一般質問の継続で 6人であるが、進行状況により協議のうえ取 り進めること及び本日終了しない場合は、明 日も行うことをはかり、異議なく決定。
- ③ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第54号及び第 56号ないし第69号

質疑並びに一般質問(6人)

- ④ 中央折衝のため、農務委員3人の上京について了承。
- 〇3月18日(水)午前9時35分、議会運営委員会室において開議、午後4時42分散会

委員長 吉田 政一(自民)

① 本日の本会議について、質疑並びに一般質 問終結の場合、予算特別委員会を設置し、議

案の各委員会付託を行うことをはかり、異議 なく決定。

- ② 予算特別委員会について、各派別分科委員 の配分結果を報告の後、委員の選任について は配付名簿のとおり選任すること、設置動議 は自民党に提出願うこととした。
- ③ 補正予算等の先議の日程について、明日先 議する予定で取り進めることに異議なく決 定。
- ④ 議案の各委員会付託について、事務局長説 明のとおりとすることに決定。
- ⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。午前9時40分休憩、午後4時40分再開。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第54号及び第 56号ないし第69号

質疑並びに一般質問(4人)

- ⑥ 休憩前の本会議における渋谷澄夫議員(社会)の議事進行発言の取扱いについて、委員長から質問者と理事者側の調整になお時間を要する旨発言の後、本日の本会議は、この程、度にとどめ延会することをはかり、異議なく決定。
- 〇3月19日(木) 午前9時35分、議会運営委員会室において開議、午後7時 散会

委員長 吉田 政一(自民)

- ① 昨日の本会議における渋谷澄夫議員(社会) の議事進行発言の取扱いについて、総務部長 から保格博夫議員(社会)の再再質問に対し 補足して答弁する旨説明の後、本日の本会議 は、知事の補足答弁から入ることをはかり、 異議なく決定。
- ② 本日の本会議について、一般 質問 4 人行い、質疑終結後、予算特別委員会を設置し議案の各委員会付託を行うことをはかり、異議なく決定。予算特別委員の選任並びに議案の各委員会付託については、昨日協議のとおり取り進めること、設置動議は寺崎 政朝 議員(自民)に提出願うことを異議なく了承。
- ③ 先議案件を議決する時期について、一般質

問終結後、議案の各委員会付託を行い休憩し、 委員会審査終了後、本会議を再開して議決す る扱いとすることに異議なく決定。

- ④ 委員長から、昭和55年における異常気象による冷害対策の件について、2月24日の冷害対策特別委員会において調査終了した旨報告の後、本日再開後の本会議において委員長報告を行い、調査終了議決する扱いとすることをはかり、異議なく決定。
- ⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。午前9時40分休憩、午後6時55分再開。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

11程第1 議案第1号ないし第54号及び第56号ないし第69号質疑並びに一般質問(4人)

(質疑終結宣告)

- ○予算特別委員会設置
- ○予算特別委員の選任
- ○議案の各委員会付託
- ⑤ 委員長から、各委員会付託先議議案の審議 状況について、すべて議了した旨報告。
- ⑥ 鈴木誠二議員(社会)ほか27人提出の議案 第57号に対する修正動議について、本日の本 会議に上程することに異議なく決定。
- ⑦ 意見案第3号の取扱いについて、本日の本 会議において議決する扱いとすることに異議 なく決定。
- ® 総務部長から、追加提出予定案件について 説明。
- ⑨ 各委員会付託議案審査のため、3月20日から26日まで休会し、27日再開することに決定。
- 毎開後の本会議は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 再開後の議事順序

(諸般の報告)

追加日程 議案第57号ないし第66号 予算特別、文教林務各委員長及 び総務副委員長の報告

(討論)

1 本間喜代人議員の議案第57号の修正 案にかかわる部分を除く残余の部分並 びに議案第63号、第64号及び第66号に 関する反対討論

(討論終結宣告)

(採決)

- 1 鈴木誠二議員ほか27人提出の議案第 57号に関する修正案を問題とし、起立 により採決(自民、道政、公明反対)
- 2 議案第57号の予算特別委員長の報告中、修正案にかかわる部分を問題とし、委員長報告(可決)のとおり決することについて起立により採決

(社会、共産、無所属反対)

- 3 議案第57号の予算特別委員長の報告中、すでに決定した部分を除く残余の部分を問題とし、委員長報告(可決)のとおり決することについて起立により採決 (共産反対)
- 4 議案第63号、第64号及び第66号を問題とし、委員長報告(すべて可決)のとおり決することについて起立により 採決 (共産反対)
- 5 議案第58号ないし第62号及び第65号 を問題とし、委員長報告(すべて可決) のとおり決することについて簡易採決
- 追加日程 昭和55年における異常気象によ る冷害対策の件

冷害対策特別委員長の報告

(採決)

1 委員長報告をもって本件調査は終了 することについて簡易採決

追加日程 意見案第3号

意見案第3号 さけ・ます漁業 の安定に関する要望意見書

(説明及び委員会付託省略)

(採決)

1 本件を原案のとおり決することについて簡易採決

各委員会付託議案審査のため休会の決定 (3月20日から3月26日まで)

(金) 午後1時16分、議会運営委員会室において開議、午後1時21分散会委員長吉田 政一(自民)

- ① 予算特別委員長から、付託議案の審議状況 について報告の後、委員長から審議促進につ いて要請。
- ② 委員長から、各常任委員会付託議案の審議 状況について報告。
- ③ 総務部長から、追加提出議案について説明 の後、本件について本日の本会議において知 事の提案説明の後、総務委員会に付託する扱 いとすることをはかり、異議なく決定。
- ④ 総務部長から、寺田副知事の本日の本会議 欠席について発言があり、異議なく了承。
- ⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第70号

追加提出議案に関する知事の説 明

(議案第70号の総務委員会付託)

日程第2 請願陳情審査の件(採択4件) (委員長報告省略)

(採決)

- 1 本件をいずれも請願陳情審査報告書 のとおり決することについて簡易採決
- 〇3月28日(土)午後4時35分、議会運営委員
会室において開議、午後11時
30分散会

委員長 吉田 政一(自民)

- ① 委員長から、各委員会付託議案の審議状況 について報告の後、本日の本会議は取りあえ ず時間延長することをはかり、異議なく決 定。午後4時35分休憩、午後11時25分再開。
- ② 委員長から、各委員会付託議案の審議状況 について報告。
- ③ 委員長から、厚生委員会における議案第41 号(北海道立静和園条例を廃止する条例案) 並びに決算特別委員会における前会より継続 審査中の報告第2号(昭和54年度北海道各歳 入歳出決算に関する件)について、継続審査 とすることに決定した旨報告。
- ④ 渋谷澄夫議員(社会)ほか35人提出の議案 第1号に対する修正動議について、本日の本 会議に上程することをはかり、異議なく決

定。

- ⑤ 総務部長から、追加提出議案について説明の後、本日の本会議において議決する扱いとすることをはかり、異議なく決定。
- ⑥ 意見案第4号の取扱いについて、本日の本 会議において議決する扱いとすることに異議 なく決定。
- ⑦ 委員長から、3月10日の本会議における発言の一部について、川崎守議員(共産)から 取消しの申し出があった旨報告の後、本日の 本会議において許可することをはかり、異議 なく決定。
- ⑧ 委員長から、伊藤豪議員(道政)から本日付けをもって文書質問承認要求書の提出があり、同日議長が承認、教育長から答弁書の提出があった旨報告の後、本日の本会議において質問趣意書及び答弁書の写を配付し、報告する扱いとすることをはかり、異議なく決定。
- ⑨ 総務部長から、地方税法の改正に伴う道条 例の一部改正に係る専決処分について発言。
- ⑩ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定の後、本会議の終了時刻の見通しとの関係から本会議の途中において議長の発議により、1日間の会期延長をはかり、明日29日は休日であるが、午前零時5分に繰上げて会議を開き、休憩のうえ、議事を継続することをはかり、異議なく決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

議長の発言(発言取消し申し出) 申し出のとおり許可することにつ いて簡易採決

日程第1 議案第1号ないし第40号、第42 号ないし第54号、第56号及び第 67号ないし第70号 予算特別、水産、文教林務、総 務、厚生、商工労働、建設各委 員長の報告 渋谷澄夫議員の議案第1号の修 正案に関する説明

(討論)

1 平野明彦議員の議案第1号の修正案 に関する反対討論

- 2 工藤啓二議員の議案第1号の修正案 に関する賛成討論
- 3 本間喜代人議員の議案第1号の修正 案にかかわる部分を除く残余の部分並 びに議案第14号ないし第17号、第37号 及び第68号ないし第70号に関する反対 討論

(討論終結宣告)

(採決)

- 1 渋谷澄夫議員ほか35人提出の議案第 1号に関する修正案を問題とし、起立 により採決 (自民、道政反対)
- 2 議案第1号の予算特別委員長の報告 中、修正案にかかわる部分を問題と し、委員長報告(可決)のとおり決す ることについて起立により採決

(社会、公明、共産、無所属反対)

- 3 議案第1号の予算特別委員長報告中、すでに決定した部分を除く残余の部分を問題とし、委員長報告(可決)のとおり決することについて起立により採決 (共産反対)
- 4 議案第14号、第32号及び第45号を問題とし、委員長報告(すべて可決)のとおり決することについて起立により 採決

(社会、公明、共産、無所属反対)

5 議案第68号及び第69号を問題とし、 委員長報告(すべて可決)のとおり決 することについて起立により採決

(社会、共産、無所属反対)

- 6 議案第15号ないし第17号、第37号及 び第70号を問題とし、委員長報告(す べて可決)のとおり決することについ て起立により採決 (共産反対)
- 7 議案第2号ないし第13号、第18号ないし第31号、第33号ないし第36号、第38号ないし第40号、第42号ないし第44号、第46号ないし第54号、第56号及び第67号を問題とし、委員長報告(すべて可決)のとおり決することについて簡易採決

日程第2 議案第71号

追加提出議案に関する知事の説

朋

(委員会付託省略)

(採決)

1 本件を原案のとおり同意することに ついて起立により採決

(社会、共産、無所属反対) (議案第71号 北海道副知事の選任につ き同意を求める件)

日程第3 意見案第4号

意見案第4号 社会保険に関す る事務とこれに従事する職員 の身分を地方自治体に移管す ることに関する要望意見書

(説明及び委員会付託省略)

(採決)

1 本件を原案のとおり決することについて簡易採決

日程第4 請願審査の件 (採択5件) (委員長報告省略)

(採決)

- 1 本件をいずれも請願審査報告書のと おり決することについて簡易採決
- ○閉会中継続審査の件 厚生委員長から議案第41号について、 決算特別委員長から前会より継続審査 中の報告第2号について申し出のとお り閉会中の継続審査に付することにつ いて簡易採決
- ○閉会中請願、陳情継続審査及び事務調 査の件 4歳任系長長せびに八宝対策特別委員

各常任委員長並びに公害対策特別委員 長から申し出のとおり閉会中継続審査 または調査に付することについて簡易 採決

- ○議長の閉会あいさつ
- ○閉会宣告

常任委員会

総務委員会

〇2月23日(月)午後3時16分、第5委員会室
において開議、午後5時58分
散会

委員長 伊藤 知則(自民)

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した国鉄地方交通 線の確保に関する中央折衝の概要について報 告書により報告、異議なく了承。
- ② 総務部長、開発調整部長、生活環境部長及 び警察本部総務部長から、第1回定例会提出 予定案件についてそれぞれ説明。
- ③ 開発調整部長から、千歳空港の国際化について報告。
- ④ 委員長から、国鉄地方交通線の確保に関する要望意見案について、配付の案文により発 議することをはかり、異議なく決定。
- ⑤ 委員長から、国鉄地方交通線の確保に関する中央折衝の実施等についてはかり、異議なく決定。実施時期については、委員長に一任することとした。
- ⑥ 小田原要四蔵委員(社会)から、江別市立病院の再建問題に関し、労使間における再建協力確認書が一方的に破棄された実情把握と見解、一方的破棄は地方公務員法に抵触するとする考えについての見解、労使関係の正常化に対する道の指導助言の必要性、労使交渉の時期・内容の事実関係の把握について質疑及び意見があり、総務部長から答弁の後、塚本肇委員(社会)から、休憩されたい旨の議事進行の発言があって、午後4時42分休憩、午後5時5分再開。総務部長から、休憩前の小田原委員の質疑に対する補足答弁。
- ⑦ 小田原要四蔵委員(社会)から、(1)待命大 使の根室地域視察に関し、外務省からの直接 派遣と道の要請による視察との相違、外務公 務員派遣の理由である実情把握に対する認識 の再確認と道の主体性、道の要請による現地 視察を実施する考え、直接派遣に対する道の

予想、新大使の赴任があった場合において現 地視察を要請する考え

(関連して、舟山広治委員(社会)から、今回の現地視察の費用負担先、大使派遣を必要とする根拠及び自治体が行うことの矛盾、再考の必要性について)

(2)道立松前病院の町移管に係る松前町議会特別委員会の開催に関し、警察官を派遣した理由、不測の事態が生じると判断した根拠と不測の事態の概念、情報分析の欠如、今後における慎重な対処方について

(関連して、中田繁夫委員(社会)から、警察官を動員できる判断基準、当事者からの意見聴取の必要性について)

質疑、意見及び要望があり、総務部長及び警察本部長から答弁。

O3月6日(金)午後4時51分、第5委員会室において開議、午後4時55分散会

委員長 伊藤 知則(自民)

一般議事

- 総務部長から、第1回定例会追加提出予定 案件について説明。
- 〇3月10日(火) 午前11時8分、第5委員会室 において開議、午前11時10分 散会

委員長 伊藤 知則(自民)

一般議事

- 総務部長から、第1回定例会追加提出予定 案件について説明。
- 〇3月19日(木)午後6時43分、第5委員会室において開議、午後6時45分散会。委員長事故のため、副委員長血広治(社会)

付託案件の審査

○ 議案第66号(財産の処分に関する件)を議題とし、開発調整部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については委員長に一任することとした。

O3月27日(金) 午後1時5分、第5委員会室 において開議、午後1時7分 散会

委員長 伊藤 知則(自民)

一般議事

- 総務部長から、第1回定例会追加提出予定 案件について説明。
- 〇3月28日(土) 午後10時18分、第5委員会室 において開議、午後11時1分 散会

委員長 伊藤 知則(自民)

付託案件の審査

- (1) 議案第20号(北海道市町村振興基金条例の 一部を改正する条例案)、議案第21号(札幌 医科大学条例等の一部を改正する条例案)、 議案第24号(北海道土地開発基金条例の一部 を改正する条例案)、議案第38号(警察官の 職務に協力援助した者の災害給付に関する法 律施行条例の一部を改正する条例案)、議案 第39号 (風俗営業等取締法施行条例の一部を 改正する条例案)、議案第67号(北海道職員 の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を 改正する条例案)及び議案第70号(北海道知 事等の給与等に関する条例等の一部を改正す る条例案)を順次議題とし、総務部長、警察 本部警務部長及び防犯部長からそれぞれ説明 の後、異議なく原案のとおり可決することに 決定。
- ② 議案第23号(北海道職員の特殊勤務手当に 関する条例の一部を改正する条例案)を議題 とし、総務部長から説明の後、

小田原要四蔵委員(社会)から、道立病院の医師に対する市町村負担についての協議の窓口と当該医師への特勤手当の支給特例措置、期間延長の根拠、期間延長後における医師の需給関係と特勤手当の廃止及び市町村負担の解消の見通しについて

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答 弁があって、原案のとおり可決することに決 定。

③ 議案第40号(北海道史編集審議会条例を廃止する条例案)を議題とし、総務部長から説明の後、

舟山広治委員(社会)から、北海道史編集 所の廃止後における道史に関する資料集積、 補完収集等の考え、従事職員の適正な配置換 えと資料保管の十分な対処方について 質疑、意見及び要望があり、総務部長から答 弁があって、原案のとおり可決することに決 定。

④ 議案第68号(北海道職員の特殊勤務手当に 関する条例の一部を改正する条例案)及び議 案第69号(北海道地方警察職員の特殊勤務手 当に関する条例の一部を改正する条例案)を 一括議題とし、総務部長及び警察本部警務部 長から説明の後、採決に入り、挙手採決の結 果、挙手多数(社会反対)をもって原案のと おり可決することに決定。付託案件に対する 委員長報告については委員長に一任すること とした。

請願、陳情の審査

請願

第 112 号 社会保険行政の事務とそれに従 事する職員の身分を地方自治体 へ移管を求める件 (採択)

一般議事

- ① 委員長から、付託の請願・陳情について、 今後付託されるものも含め、閉会中継続審査 の申し出をすること及び所管事務について、 閉会中継続調査の申し出をすることをはか り、異議なく決定。
- ② 委員長から、社会保険に関する事務とこれ に従事する職員の身分を地方自治体に移管す ることに関する要望意見案について、配付の 案文により発議することをはかり、異議なく 決定。
- O3月30日(月) 午前11時46分、第5委員会室 において開議、午後零時22分 散会

委員長 伊藤 知則(白民)

一般議事

- ① 総務部長から、地方税法の改正に伴う北海 道税条例の一部改正に係る専決処分及び有珠 山周辺地域対策プロジェクトチームによる災 害防止対策報告について説明。
- ② 小田原要四蔵委員(社会)から、(1)北方領

土問題北海道懇話会における堀大使の発言に関し、領土の範囲に関する発言の真意、発言に対する責任の所在、クリル諸島の範囲についての道の見解、大使と道議会との接触の必要性及び機会創出についての配慮、(2)財団法人歯誠学園の寄附行為に関し、刑事責任についての見解、寄附金の使途等、(3)岩沢グループに係る株投機に関する調査の進展状況について

質疑、意見及び要望があり、総務部長及び警察本部刑事部長から答弁。

厚生委員会

〇2月23日(月)午前11時17分、第9委員会室において開議、午後4時13分散会

委員長 宇野 真平(自民)

付託案件の審査及び請願、陳情の審査

○ 議案第13号(北海道病院事業条例の一部を 改正する条例案)及び請願第56号(道立増毛 病院の町移管案の撤回並びに道 立 病 院 の 拡 充、強化を求める件)を一括議題とし、質疑 を続行、

保格博夫委員(社会)から、計画されている増毛町立診療所の40床構想の根拠、財産処分についての考え、町との協議内容

山家勇委員(社会)から、町立診療所設置 後において民間委託される懸念に対する対処 策と見解、民間に委託された場合の受託者に 対する道の指導権限の有無(関連して、輪島 幸雄委員(社会)から、民間委託阻止のため の事前協議等について)

質疑及び意見があり、衛生部長から答弁があって質疑を終結。付託案件に対する意見調整のため、午前11時57分休憩、午後1時44分再開。委員長から、意見の一致をみるに至らなかった旨報告の後、討論に入り、輪島幸雄委員(社会)から、議案第13号に対する反対討論、請願第56号の採択に対する賛成討論があって討論終結。ついで採決に入り、議案第13号を問題とし、挙手採決の結果、挙手多数(社会反対)をもって原案のとおり可決。

輪島幸雄委員(社会)から、少数意見を留保する旨発言。ついで、

伊藤武一委員(公明)から、本委員会における審議の経過にかんがみ、「道立増毛病院の廃止により、道は今後とも増毛地域の医療が低下しないように努めるとともに、道立合をの再編整備に関しては、その進捗状況に合せ新設を含めたビルド面の具体策については、を引きる。」との付帯意見を委員長報告にである。」との付帯意見を委員長報告にてするととした。本手採決の結果、挙手少数(自民、道政、公明反対)をもって不採択と決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

- ① 民生部長及び衛生部長から、第1回定例会 提出予定案件について説明。
- ② 民生部長から、行政改革に係るその後の経 渦について説明の後、

保格博夫委員(社会)から、(1)中央乳児院の銭兩への移転及び内部障害者更生指導所の美唄への統合に関し、道と札幌市との協議内容、提案に至った見解、札幌市に置くための道有地と市有地の交換等交渉の有無、中央乳児院銭兩移転の既定方針と委員会審議の尊重方、内部障害者の通所制度の廃止に対する見解、(2)道立静和園の廃止問題に関し、事業団方式による運営についての考えについて質疑及び意見があり、民生部長から答弁。

③ 衛生部長から、昭和55年度食品及び添加物等の年末一斉取締りの結果について報告の後、

保格博夫委員(社会)から、食品添加物の 違反に関し、悪質な製品の取扱いと行政措 置、悪質製品名等の公表方について 質疑、意見及び要望があり、衛生部長及び食品衛生課長から答弁。

④ 保格博夫委員(社会)から、(1)北海道消費 者連盟の歯の110番に関し、歯科医の不正事 例等に対する道の対応、(2)デンタルローン (歯の治療費の月賦払い)に対する状況把握 と行政側の対応、(3)身体障害者に係る不快用語の改正に関し、道の取り組み方、今定例会に提案する考え、道条例とのかかわり、(4)札幌医大の動物実験による韓国型出血熱に関し、罹患職員の健康状況、抗体保持者等関係者の健康管理についての対応策、実験動物のその後の処理について

質疑、意見及び要望があり、民生部長及び衛 生部長から答弁。

〇3月28日(土)午後10時18分、第9委員会室において開議、午後10時27分散会

委員長 宇野 真平(自民)

付託案件の審査

- ① 議案第25号(北海道児童福祉施設設置条例の一部を改正する条例案)、議案第26号(北海道保母修学資金貸付条例の一部を改正する条例案)、議案第27号(北海道医学及び歯学修学資金貸付条例の一部を改正する条例案)、議案第28号(理学療法士及び作業療法士修学資金貸付条例の一部を改正する条例案)、議案第29号(北海道立衛生学院等看護職員課程修学資金貸付条例の一部を改正する条例案)、議案第30号(北海道看護職員養成修学資金貸付条例の一部を改正する条例案)を一括議題とし、民生部長及び衛生部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第41号(北海道立静和園条例を廃止する条例案)を議題とし、閉会中継続審査の申 し出をすることをはかり、異議なく決定。付 託案件に対する委員長報告については、委員 長に一任することとした。

一般議事

- 委員長から、付託の請願、陳情について、 今後付託されるものも含め、閉会中継続審査 の申し出をすること及び所管事務について、 閉会中継続調査の申し出をすることをはか り、異議なく決定。
- 〇3月30日(月)午前10時45分、第9委員会室
において開議、午前11時8分
散会
委員長 宇野 真平(自民)

請願、陳情の審査

請願

第33号 北海道難病センター設置の早期実 現と総合的難病対策確立の件

(採択)

陳 情

第61号 道委託事業の直接契約に関する件 (採択)

一般議事

① 山家勇委員(社会)から、医師の充足、確保対策に関し、医療従事者の地域偏在是正及び給与格差の是正対策、町村における財政負担問題、医師対策協会の強化と体質改善、保健所長の兼務解消方について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答 弁。

② 委員長から、静和園に関する条例案の今後 の取り扱いについて、理事会において、委員 の任期中に委員会の結論を出すとの確認をし た旨を報告。

商工労働委員会

〇2月23日(月)午前11時15分、第8委員会室において開議、午前11時55分散会

委員長 池島 信吉(社会)

一般議事

○ 商工観光部長、労働部長及び企業局長から、 第1回定例会提出予定案件について説明。

本日聴取した陳情

季節労働者の冬期間の仕事の確保と積寒給付金制度の改善について

地元で働く仕事と90日復活を要求する 北海道連絡会事務局長

○3月28日(土) 午後10時7分、第8委員会室 において開議、午後10時13分 散会

委員長 池島 信告(社会)

付託案件の審査

○ 議案第31号(北海道屋外広告物条例の一部 を改正する条例案)を議題とし、商工観光部 長から説明の後、異議なく原案のとおり可決 することに決定。付託案件に対する委員長報 告については、委員長に一任することとし た。

一般議事

○ 委員長から、付託の請願、陳情について、 今後付託されるものも含め、閉会中継続審査 の申し出をすること及び所管事務について、 閉会中継続調査の申し出をすることをはか り、異議なく決定。

O3月30日(月) 午前10時53分、第8委員会室 において開議、午前11時56分 散会

委員長 池島 信告(社会)

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した道内における 商工労働事情調査の概要について報告書によ り報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、季節労働者の冬期の雇用安定 並びに心身障害者の雇用促進に関する中央折 衝の実施についてはかり、異議なく決定。派 遣委員等については、委員長に一任すること とした。
- ③ 委員長から、道外における商工労働事情調 査の実施についてはかり、異議なく決定。派 遺委員等については、委員長に一任すること とした。
- ④ 商工観光部長から、札幌トヨペット㈱の倒産問題にかかるその後の経過について報告。
- ⑤ 関根建二委員(社会)から、北電の泊村堀株地区住民地権者に対する生活資金の貸付けに関し、北電からの報告の有無、道の北電に対する指導、堀株地区住民の会の北電に対する12項目の要求と交渉の経過、川地買収と生活資金の貸付け及び農地法上の問題、電気事業会計規則及び農地法上の問題についての調査と指導について

質疑及び意見があり、 商 工 観 光 部長から答 弁。

⑥ 樫林巌委員(社会)から、(1)南北海道オーシャンライン連絡協議会の設立に関し、その構想と具体的な事業内容、(2)北海道急行トラック㈱に関し、従業員の解雇問題についての

見解と地労委における 審査経過 及び 道 の 対応、従業員に対する雇用保険の仮給付等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長、 労働部長及び地労委事務局長から答弁。

農務委員会

○2月23日(月) 午前11時1分、第7委員会室 において開議、午後零時48分 散会

委員長 武部 勤(自民)

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施したLL牛乳の流 通問題を含めた酪農対策に関する中央折衝の 概要について報告書により報告、異議なく了 承。
- ② 委員長から、昭和56年度畜産物価格等に関する要望意見案について、配付の案文により 発議することをはかり、異議なく決定。
- ③ 委員長から、要望意見案に関する中央折衝 の実施についてはかり、異議なく決定。派遣 委員等については、委員長に一任することと した。
- ④ 農務部長から、第1回定例会提出予定案件 について説明。
- ⑤ 農務部長から、農業試験場の整備に関する 報告の後、

神本三也委員(社会)から、農業試験場整備の基本計画に関し、行政改革及び農業経営 指標との関連、予算規模等の具体的見通しの 欠如、各試験場の整合性、小麦試験に係る拠 出金問題の取り組み方、職員組合との協議の 有無

岡本栄太郎委員(社会)から、基本計画に 関し、目標年次を10年後とする妥当性と緊急 を要するものに対する取扱い、具体的実施計 画と必要予算額、各試験場の整備計画の内容 とその必要性、前期5カ年の実施計画の提出 時期

吉野之雄委員(社会)から、基本計画に関 し、年度別計画の必要性と試験研究の目標に 対するプロセスについて 質疑、意見及び要望があり、農務部長から答 弁。

〇3月28日(土)午後10時10分、第7委員会室において開議、午後10時12分放会

委員長 武部 勤(自民)

一般議事

- 委員長から、付託の請願、陳情について、 今後付託されるものも含め、閉会中継続審査 の申し出をすること及び所管事務について、 閉会中継続調査の申し出をすることをはか り、異議なく決定。
- ○3月30日(月) 午前10時42分、第7委員会室 において開議、午後零時2分 散会

委員長 武部 勤(自民)

請願、陳情の審査

請願

第 111 号 農業改良普及事業の縮小に反対 し、事業の拡充強化を求める件 (採択)

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した畜産物価格等 に関する中央折衝の概要について報告書によ り報告、異議なく了承。
- ② 農務部長から、昭和56年度畜産物価格等の 決定について報告の後、

岡本栄太郎委員(社会)から、(1)牛乳乳製品対策に関連する予算内訳、乳製品のメーカー別在庫の実態確認、雪印5工場の閉鎖と生産乳量との関係、受乳拒否、運賃負担問題に対する見解、第4次酪近計画の見通しと適切な行政指導の必要性、(2)酪農家の負債実態調査の進め方と酷農経営負債整理基金の運用について(関連して、湯田倉治委員(道政)から、酪農経営負債整理基金及び超長期資金の対象範囲について)

質疑及び意見があり、農務部長から答弁。

建設委員会

O2月23日(月) 午後1時50分、第4委員会室 において開議、午後2時15分 散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

一般議事

- 土木部長及び住宅都市部長から、第1回定 例会提出予定案件について説明。
- 〇3月14日(土)午前11時43分、第4委員会室
において開議、午前11時53分
散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

付託案件の審査

○ 議案第55号(河川法に基づく一級河川の指 定等についての意見に関する件)を議題と し、土木部長から説明の後、

湯本芳志委員(社会)から、一級河川の工事による環境保全に関し、生活環境部及び関係機関との協議の有無、地元自治体の意見の聴取等

中川隆之委員(道政)から、河川改修にか かわる魚道の完備方について

質疑、意見及び要望があり、土木部長から答 弁の後、原案のとおり可決することに決定。 付記案件に対する委員長報告については、委 員長に一任することとした。

〇3月28日(土)午後10時13分、第4委員会室
において開議、午後10時23分
散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

付託案件の審査

- ① 議案第42号(北海道大麻団地開発事業特別会計条例を廃止する条例案)を議題とし、住宅都市部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第56号(財産の処分に関する件)を議題とし、住宅都市部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

請願、陳情の審査

請願

第 1 号 苫小牧市錦岡団地(道営住宅) の下水道整備に関する件

(採択)

第70号 道道上風連中西別線の舗装促進 に関する件 (採択)

第110号 道道上風連中西別線の改良並び に舗装工事の促進に関する件 (採択)

第114号 道営白樺団地に身体障害者のた めの住宅の建設に関する件

(採択)

残余の請願、陳情については、今後付託 されるものも含め、閉会中続続審査の申し 出をすることをはかり、異議なく決定。

一般議事

- 委員長から、所管事務について、閉会中継 続調査の申し出をすることをはかり、異議な く決定。
- O3月30日(月)午前10時33分、第4委員会室
において開議、午前10時41分
散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

請願、陳情の審査

陳情

第55号 道営住宅家賃の値上げに関する件 (議決不要)

第56号 道営住宅家賃の値上げに関する件 (議決不要)

一般議事

○ 湯本芳志委員(社会)から、道営住宅の家 賃改定に関し、家賃の不払者に対する説得と 入居者の理解を得るための指導の徹底方及び その対策、値上げに伴う4月分家賃の納付書 の送付時期と納入期限、滞納原因の分析等に よる対応方について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長か ら答弁。

農地開発委員会

○2月23日(月) 午後2時、第3委員会室にお

いて開議、午後2時20分散会 委員長 高田 忠雄(道政)

般議事

- ① 農地開発部長から、第1回定例会提出予定 案件について説明。
- ② 農地開発部長から、森町土地改良区の補助 事業に関する不正事件のその後の経過と今後 の措置等について説明。
- 〇3月28日(土)午後10時10分、第3委員会室において開議、午後10時12分散会

委員長 高田 忠雄(道政)

一般議事

- 委員長から、所管事務について閉会中継続 調査の申し出をすることをはかり、異議なく 決定。
- ○3月30日(月) 午前10時23分、第3委員会室 において開議、午前10時28分 散会

委員長 高田 忠雄(道政)

一般議事

○ 農地開発部長から、昭和56年度農地開発部 関係組織機構の改正について説明の後、

青木延男委員(社会)から、機構改正に当 たって、組合等関係者との十分な協議方につ いて要望。

水產委員会

〇2月23日(月)午後2時26分、第6委員会室において開議、午後4時37分散会

委員長 小笠原 孝(自民)

般議事

- ① 水産部長から、第1回定例会提出予定案件 について説明。
- ② 水産部長から、道漁連の釧路、根室支所における不祥事について説明の後、

星野健三委員(社会)から、道漁連の事故 処理に係る職務権限表の妥当性と現在の使用 状況、欠損見込額と決算計上額との関係、道

貸付金の妥当性

岩崎守男委員(社会)から、事件発生及び 道の把握時期、業務の適正執行に関する知事 通達に対する報告の有無と道独自調査の有 無、道の指導責任についての見解、不正取引 きの内容とその原因、債権回収を短期間で不 可能とした判断基準、業者に対する法的措置 をとる考え、不良業者に対する信用供与につ いての見解、地区連の組織、業務内容と魚価 操作の危俱等

(関連して、滝沢勉委員(自民)から、地区 連が行う業務の妥当性とその役割の認識方)

川崎守委員(共産)から、不正事件の発生 防止に対する道の見解、不祥事件再発の原 因、品物の流れなど取引きの概要、チェック 体制整備のためにとった改善指導の内容、商 品代金の送金経緯、道貸付金の返済期限及び 使途ついて

質疑、意見及び要望があり、水産部長及び漁 政課長から答弁の後、

川崎守委員(共産)から、道漁連会長の水 産副委員長の兼任について発言があって、委 員長から応答。

〇3月28日(土)午後10時14分、第6委員会室において開議、午後10時19分散会

委員長 小笠原 孝(自民)

付託案件の審査

- ① 議案第18号(北海道水産業振興審議会条例 案)を議題とし、水産部長から説明の後、異 議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第32号(北海道水産物検査条例の一部 を改正する条例案)を議題とし、水産部長か ら説明の後、採決に入り、挙手採決の結果、 挙手多数(社会、共産反対)をもって原案の とおり可決することに決定。付託案件に対す る委員長報告については、委員長に一任する こととした。

一般議事

○ 委員長から、所管事務について、閉会中継 続調査の申し出をすることをはかり、異議な く決定。 〇3月30日(月) 午前11時18分、第6委員会室 において開議、午前11時45分 散会

委員長 小笠原 孝(自民)

一般議事

- ① 委員長から、さけ・ます漁業の安定に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 水産部長から、日ソさけ・ます漁業交渉に ついて報告。
- ③ 石川十四夫委員(道政)から、日ソ親善友 好協会羅臼支部開設式典の報道に関し、ソ連 大使の出席等式典の把握状況、会員証交付の 状況とその性格

新沼浩委員(白民)から、船名の入った会 員証が免罪符となる懸念と道の見解

川崎守委員(共産)から、会員証に船名を 入れた理由と船名をはずす考え

滝沢勉委員(自民)から、会員証が漁業許可証的な問題を生じた場合における取締方法 と責任の所在

岩崎守男委員(社会)から、会員証の取り 扱いに関し、外務省を窓口とするソ連との交 渉について

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答 弁。

文教林務委員会

〇2月23日(月)午前11時1分、第10委員会室において開議、午前11時39分散会

委員長 熊谷 克治(社会)

一般議事

- ① 教育長、林務部長及び学事課長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
- ② 教育長から、北海道教育長期総合計画の概要について説明。
- 〇3月19日(木)午後6時43分、第10委員会室
において開議、午後6時55分
散会数員長熊谷克治(社会)

付託案件の審査

○ 議案第65号(財産の取得に関する件)を議題とし、教育長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

請願、陳情の審査

請願

第21号 道立普通高校建設に関する件 (採択)

陳 情

第6号 道立高等学校(全日制普通科)の 設置に関する件 (採択)

〇3月28日(土)午後10時10分、第10委員会室
において開議、午後10時21分
散会

委員長 熊谷 克治(社会)

付託案件の審査

- ① 議案第34号(北海道立学校設置条例の一部を改正する条例案)、議案第35号(北海道立教育研究所条例の一部を改正する条例案)及び議案第36号(北海道公立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例案)を一括議題とし、教育長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第19号(北海道林業振興審議会条例案)及び議案第33号(北海道有林野条例の一部を改正する条例案)を一括議題とし、林務部長から説明の後、

米村邦敏委員(社会)から、審議会委員の 選考についての基本的見解と消費者及び林業 労働者の代表の選任について

質疑及び要望があり、 林 務 部 長 から答弁の 後、原案のとおり可決することに決定。付託 案件に対する委員長報告については、委員長 に一任することとした。

○3月30日(月) 午前11時38分、第10委員会室 において開議、午後1時20分 散会 委員長 熊谷 克治(社会)

一般 議事

- ① 教育長から、公立高等学校入学選抜第2次 募集状況について説明。
- ② 若狭靖委員(自民)から、校内暴力に関し、道教委の調査報告と高教組による「職場 総点検調査」との差異の理由、高教組の調査 における道東地区の暴力等についての真偽と 見解、本州との比較
- ③ 米村邦敏委員(社会)から、(1)学校における省エネ対策に関し、実施と定着の状況、冬休み期間の1日延長による効果とその検討方、今後の省エネ対策についての考え、(2)北海道歯科技術専門学校における寄附行為に関し、道内における専修・各種学校の認可が、寄附金要請の原因と他の年度の実態、知事に対する届出の必要性、認可の妥当性、知査指導体制の強化、(3)新林業構造改善事業の実施方針及び56年度の事業計画、(4)木材等の実施方針及び56年度の事業計画、(4)木材ので不況対策に関し、林産業不況対策特別資金貸付金の活用状況、今後における林産業の見通、と対策、生産と需要との関連、製材流通機構の整備に関する調査終了の時期と早期対策方

本間喜代人委員(共産)から、高等学校の 入学試験に関し、入試成績表の保存期間、出 身中学に対する成績通知の有無、中学校及び 高校における成績表の取り扱い方と慎重な配 慮について

質疑、意見及び要望があり、教育長、林務部 長、学校教育部長及び学事課長から答弁。

特別委員会

総合開発調査特別委員会

- O2月23日(月) 午後4時48分、第1委員会室 において開議、午後4時57分 散会
 - 委員長 作田 政次(自民)
 - ① 開発調整部長から、第1回定例会提出予定 案件について説明。
 - ② 開発調整部長から、千歳空港の国際化について報告。

石炭対策特別委員会

- O2 月23日(月) 午後4時44分、第11委員会室 において開議、午後5時散会 委員長 工藤万砂美(自民)
 - ① 委員長から、さきに実施した道外調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
 - ② 委員長から、産炭地域にかかる国鉄地方交 通線の確保に関する中央折衝の概要について 口頭により報告、異議なく了承。
 - ③ 商工観光部長及び労働部長から、第1回定 例会提出予定案件について説明。
 - ④ 委員長から、産炭地域にかかる国鉄地方交 通線の確保に関する中央折衝の実施について はかり、異議なく決定。

北方領土対策特別委員会

- 〇2月23日(月)午後6時10分、第3委員会室において開議、午後7時20分散会
 - 委員長 田苅子政太郎(自民)
 - ① 領対本部長から、第1回定例会提出予定案 件について説明。
 - ② 領対本部長から、「北方領土の日」設定に 伴う啓発行事の実施結果について報告の後、 小田原要四蔵委員(社会)から、北方領土 の日が2月7日に設定された経緯と道の意見

具申の内容、北方領土返還要求運動連絡協議会及び総理府主催の北方領土の日制定懇話会に対する道の基本的姿勢、「北方領土の日」の設定と国民的・道民的合意との関連、北方領土の日制定懇話会の審議経過の内容、四島等の「等」についての見解、国に対し北方領土の日の見直しを要請する考え、北方領土の日の行事と道の従来からの関連行事の進め方について

(関連して、保格博夫委員(社会)から、道 の従来からの行事を今後とも重点的に実施し ていく考えについて)

質疑、意見及び要望があり、領対本部長から 答弁。

〇3月30日(月) 午後1時40分、第3委員会室 において開議、午後2時20分 散会

委員長 田苅子政太郎(自民)

- ① 領対本部長から、昭和56年度北方領土復帰対策事業の推進について説明。
- ② 委員長から、北方領土に関する他府県議会 の再決議要請の実施についてはかり、異議な く決定。派遣委員等については、委員長に一 任することとした。
- ③ 小田原要四蔵委員(社会)から、道へ派遣の待命大使に関し、北方領土問題北海道懇談会における北方領土返還時期の見通し、千島列島とクリル諸島の範囲についての発言に対する見解、大使との意見交換の機会をつくることについて

質疑、意見及び要望があり、領対本部長から 答弁。

公害対策特別委員会

〇2月23日(月)午後4時45分、第2委員会室において開議、午後4時51分散会

委員長 和田 勝之(自民)

○ 生活環境部長から、第1回定例会提出予定 案件について説明。 O3月28日(土)午後11時6分、第11委員会室
において開議、午後11時9分
散会

委員長 和田 勝之(自民)

- ① 委員長から、付託の請願について、今後付 託されるものも含め、閉会中継続審査の申し 出をすることをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、さきに実施した道外調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。

冷害対策特別委員会

○2月24日(火) 午後1時27分、第1委員会室 において開議、午後2時3分 閉会

委員長 高橋正四郎(自民)

① 総務部長、農務部長及び商工観光部長から、昭和55年冷害対策措置状況について報告の後、

岡本栄太郎委員(社会)から、(1)土地改良 資金に関する償還猶予の現状、(2)今後におけ る冷害対策に関し、関係機関において対処す べき体制の明確化、推進すべき対策の取り組 み方と気象観測体制の具体的な考え方、資金 対策についての考え、試験研究機関の強化、 地域に即した地区別営農類型の作成方、営農 指導、金融制度等の確立について 質疑、意見及び要望があり、農地開発部長及

質疑、意見及び要望があり、農地開発部長及 び農務部長から答弁。意見調整のため午後1 時53分休憩、午後1時54分再開。

- ② 委員長から、休憩中の理事会において取り まとめた配付の「今後推進すべき事項」を委 員長報告文に挿入することをはかり、異議な く決定の後、農務部長から発言。
- ③ 委員長から、本委員会の調査終了について はかり、異議なく決定。付託案件に対する委 員長報告については、委員長に一任すること とした。
- ④ 委員長から本委員会の閉会に当ってのあい さつがあった。

予算特別委員会

O3月19日(木)午後2時42分、第1委員会室において開議、午後6時34分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

正副委員長の互選

- ① 村上舞明臨時委員長(自民)から、委員長 互選の方法についてはかり、米村邦 敏 委員 (社会)の動議により指名推選の方法をもっ て水沼徳一郎委員(自民)を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法について はかり、平野明彦委員(自民)の動議により 指名推選の方法をもって小田原要四 蔵 委員 (社会)を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のた め、午後2時46分休憩、午後2時47分再開。 休憩中協議の結果、付託案件に対する審査の 方法について、付託案件のうち昭和55年度各 会計補正予算関係議案8件については、これ を先議することとし、本委員会で審査を行う こと、その他の案件については、3分科会を 設置して質疑を行うこととし、第1分科会は 委員17人、所管は総務部、開発調整部、生活 環境部、公安委員会、人事委員会、出納局及 び監査委員、第2分科会は委員17人、所管は 民生部、衛生部、土木部、住宅都市部、企業 局及び教育委員会、第3分科会は委員17人、 所管は農務部、農地開発部、水産部、林務部、 商工観光部及び労働部とすること、各分科会 に付託する案件は配付のとおりとすること、 各分科会における質疑保留事項に対する総括 質疑は本委員会において行うことをはかり、 異議なく決定。
- ④ 各分科会の委員の選任についてはかり、異議なく配付の委員名簿のとおり選任することに決定。

〇第1分科委員(17人)

小田原要四蔵(社会) 樫林 巖 (社会) 神本 三也(社会) 佐々木行雄(自民) 中川 隆之(道政) 松本 勇(自民) 山口 眞人(自民) 工藤 啓二(公明) 岩崎 守男(社会) 高木 繁光(自民) 高田 忠雄(道政) 平野 明彦(自民)

和田 勝之(自民) 大平 秀雄(自民) 小沢 栄吉(自民) 藤井 虎雄(社会) 東 典俊(自民)

〇第2分科委員(17人)

高橋 康之(自民) 勝木 省三(道政) 土屋 良三(自民) 水岡 薫(自民) 吉川 貴盛(自民) 青山 正男(自民) 長岡 寅雄(社会) 萩上 元春(社会) 柳谷 正一(公明) 米村 邦敏(社会) 輪島 幸雄(社会) 伊藤 豪(道政) 野村 權作(自民) 古川 靖晃(自民) 字野 真平(自民) 舟山 広治(社会) 若狭 靖(自民)

O第3分科委員(17人)

弘(自民) 木本 由孝(自民) 伊藤 小田部善治(道政) 久田 保(自民) 関根 建二(社会) 吉野 之雄(社会) 岩田 徳弥(自民) 字川 源吉(自民) 寺崎 政朝(自民) 中崎 昭一(自民) 武部 勤(自民) 鈴木 誠二(社会) 本間喜代人(共産) 高橋 鉱(公明) 村上 舞明(自民) 星野 健三(社会) 高橋正四郎(自民)

- ⑤ 各分科会に分科委員長のほか分科副委員長 1名を置くこと、分科委員の辞任及び補充選 任並びに所属変更については本委員長におい て行うことをはかり、異議なく決定。
- ⑥ 付託案件の審査日程についてはかり、異議 なく配付の日程のとおりとすることに決定。
- ⑦ 質疑の方法について通告の形式により、一括してこれを行うこと、一問一答方式により 行う場合は、委員長に申し出ること、発言の 順位は本会議における一般質問に準ずること をはかり、異議なく決定。
- ⑧ 委員外議員の発言の取り扱いについてはかり、議員から発言の申し出があった場合その 都度委員会にはかり決定すること及び発言は 委員の通告質疑の終了後これを許可すること についてはかり、異議なく決定。
- ⑨ 議席についてはかり、異議なく配付の議席 表のとおりとすることに決定。
- (1) 本委員会の運営について正副委員長及び各分科正副委員長をもって構成する理事会を設置し、その協議により運営することについて

はかり、異議なく決定の後、午後2時53分休憩、午後3時48分再開。

① 議案第57号ないし第64号を議題とし質疑に 入り、

鈴木 誠二委員(社会)から、

- (1) 生活保護費関連予算に関し、生活保護費 関連予算で15億円を減額した理由、今後に おける生活保護対策の考え方
- (3) 基金積立金に関し、教育施設整備基金、減債基金に多額の積立をした理由、財政調整基金のこれまでの取り崩しの状況及び積立ての目標
- (4) 国の直轄事業に関し、国の直轄河川事業 費、砂防事業費について負担金を予算に計 上した理由
- (5) 医療問題に関し、病院事業会計の累積赤字と道立病院の町村移管との関連、一次医療の町村分担の妥当性、医師の確保の困難性、財政負担に対する見解等について

本間 喜代人委員(共産)から、

- (1) 士別地区の家畜保護施設新築工事に関し、農地開発公社が指名した元請業者の下請業者に対する工事代金の遅延及び手形の不渡り等に対する見解、道開発公社の指名競争参加者指名基準の妥当性と道の指導のあり方
- (2) 国土法違反に関し、倶知安町における土 地売買に関する国土法違反に対する道の対 処方針と見解
- (3) 苫東の住宅団地に関し、苫東の住宅団地を地域振興整備公団に一括売却の考え
- (4) 特別生活資金制度に関し、受給対象者の 見込みと実績にそごが生じた理由
- (5) 季節労働者の就労対策に関し、季節労務者の地元での就労機会の拡大策
- (6) 市町村に関する行政指導に関し、町役場 庁舎の建設の財源調達方法と町有地の買戻 し条件付売買の妥当性及び地財法との関 連、町に対する財務監視のあり方等につい て

質疑、意見及び要望があり、総務部長、開発調整部長、 民生部長、衛生部長、農務部長、労働部長、土木部長 から答弁があって、先議案件に対する質疑を終結。先 議案件に対する意見調整のため午後6時13分休憩、午 後6時27分再開。

② 委員長から、各派代表者会議における意見 調整の結果、議案第57号、第63号及び第64号 について意見の一致をみるに至らなかった旨 及び議案第57号については鈴木誠二委員(社 会)ほか13人から、修正動議が提出されてい る旨報告の後、鈴木誠二委員(社会)から趣 旨説明があり、直ちに採決に入り、修正案を 問題とし、起立採決の結果、起立少数(自民、 道政、公明反対)をもって否決と決定、次に 修正案にかかわる原案部分を問題とし、起立 採決の結果、起立多数(社会、共産反対)を もって原案のとおり可決と決定。次に、修正 案にかかわる部分を除く原案部分 を 問 題と し、起立採決の結果、起立多数(共産反対) をもって原案のとおり可決と決定。次に、鈴 木誠二委員(社会)から議案第57号に関し少 数意見を留保する旨発言。次に、議案第63号 及び第64号を一括問題とし、起立採決の結果、 起立多数(共産反対)をもって原案のとおり 可決と決定。次に、議案第58号ないし第62号 を一括問題とし、異議なく原案のとおり可決 することに決定。

第1分科会

〇3月19日(木)午後2時57分、第1委員会室
において開議、午後3時5分
散会

第1分科委員長

平野 则彦(自民)

正副委員長の互選

- ① 指名推選の方法により、分科委員長に平野 明彦委員(自民)、分科副委員長に神本三也 委員(社会)をそれぞれ選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑方法等について 協議決定した。
- ③ 本分科会の運営について、自民、社会、道 政及び公明各1名計4名の理事を選び、その 協議により行うことをはかり、異議なく決定。

理事には、山口眞人委員(自民)、樫林巖委 員(社会)、中川隆之委員(道政)及び工藤 啓二委員(公明)をそれぞれ選出。

- ④ 分科委員外委員及び委員外議員の発言の取扱いについて、その都度分科会にはかり決定することとした。
- ⑤ 議席について、配付の議席表のとおりとすることに決定。
- ○3月23日(月) 午前10時30分、第1委員会室 において開議、午後3時9分 散会

第1分科委員長

平野 明彦(自民)

① 公安委員会所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、本間喜代人第3分科委員 (共産)からの本分科会への出席及び公安委 員会所管に対する発言の申し出について、通 告の分科委員の質疑終了後、これを許可する ことをはかり、異議なく決定。

萩上 元春委員(社会)から、

- (1) 若年者の交通事故防止対策に関し、高校 生、大学生等の若年者による交通事故発生 の現況と防止対策の考え方、自動車運転免 許取得年齢の引上げについての対処策、免 許取得に対する独自の条例による規制の考 え及び他府県の状況、事故防止に対する学 校側等との協議による指導強化の必要件
- (2) 自動車の前照灯に関し、トラック、乗用車の前照灯の設置基準、前照灯の照明光度の上限規制の有無、夜間走行中、対向車両に対し減光しない自動車の取締りについての考え、補助前照灯の設置基準、保安基準の上限光度を超えた場合の罰則規定及び取締りの対象となることの有無、保安基準に適合しない補助前照灯の販売禁止措置について通産省と協議する等の考え、トラックの満艦飾灯火の違法性及び灯火の規制・取締り実施の考え方
- (3) 自動車の路上駐車に関し、路上駐車が増 えている原因、路上駐車に対する取締りに ついての法的根拠、民有地の小路における 車庫法の適用についての見解、車庫証明書 の発行手続き処理の方法と取扱い件数、路

上駐車取締りにおける問題点及び指導取締 りの徹底等について

樫林 巖委員(社会)から、

- (1) 暴走族対策に関し、道内における暴走族 集団の組織実態と高校生、中学生等の加盟 比率、暴走行為以外に凶悪化を示す具体的 な事件の内容と凶悪化している傾向につい てのとらえ方、暴走族集団と暴力団とのい ながりについて調査の有無、暴走族に対す る道警本部の取締り体制、スピード違反に 対する広域的取締りの連けい体制、行政処 分の強化の有無と成果、暴走族の解散のた めの具体的対策及び事前に解散させるため の指導の状況、暴走族の壊滅に向けての施 策の取り組み方、違反改造車両等の没収と 取締りについての考え方
- (2) 自動車の点灯走行に関し、早日点灯運動の成果と運転者への周知徹底状況及び指導のあり方、自動二輪車の点灯走行についての考え方
- (3) レーダ逆探知機に関し、交通取締りに係るレーダー逆探知機の営業車取りつけ実態の把握状況と探知機設置の規制強化の考え等について

本間 喜代人委員(共産)から、

危険物の取締りに関し、小樽・泊村のダイナマイト運搬の実態把握状況及び取締り、検挙状況と違反の内容、道警本部としての基本的な取締り対策と見解について

質疑、意見及び要望があり、警察本部長及び交通部長 から答弁。

〇3月24日(火)午前10時30分、第1委員会室において開議、午後4時42分散会

第1分科委員長

平野 明彦(自民)

○ 開発調整部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、本間喜代人第3分科委員 (共産)からの本分科会への出席及び開発調整部所管に対する発言の申し出について、通 告の分科委員の質疑終了後これを許可することをはかり、異議なく決定。

藤井 虎雄委員(社会)から、

発展計画におけるエネルギー指標に関し、エネルギー指標の意義、昭和50年の電力需要 実績の把握の的確性、電力需要の伸び率の見 込の妥当性、北電の発電所建設計画と設備過 剰となる懸念等について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長及び同部参 事から答弁。

〇3月25日(水)午前10時12分、第1委員会室において開議、午後4時54分散会

第1分科委員長

平野 明彦(自民)

○ 開発調整部所管に対する質疑の続行、湯本 芳志委員(社会)から、

水資源問題に関し、発展計画における多日 的ダム及び各種専用ダムの建設計画の現時点 での実績と62年までの建設見通し、道内にお けるダムの堆砂の現況把握、堆砂によるダム の機能の低下と対処方針、ダム建設の設計時 における堆砂量の計算方式の妥当性、森林の 地質の特徴についての認識、森林の堆積土砂 流出防止機能についての考え方、針葉樹と広 葉樹の土砂流出防止機能効果の比較、水資源 対策との関連におけるダム建設問題に対する 取り組み方、水源涵養保安林の改良及び水源 林の浩成の進捗状況と今後の実現見通し、国 の第3期保安林整備計画及び重要水源山地整 備治山事業の道発展計画における位置付け、 土砂の流出量を大きく変化させないための伐 採、運搬、造材に考慮を払う考え、道内にお ける森林の現状と施業の実態、森林における 保水力、土砂流失の防止機能の状況等の把握 に対する見解、営林署の統廃合に対する見 解、森林とダムの総合的な整備による利水機 能の確保等について

伊藤 武一委員(公明)から、

(1) 国立大学の誘致に関し、本道高等教育の 水準に対する認識、発展計画における62年 の高等教育機関の目標達成の見通し、大学 誘致の現状と道の基本的取り組み方、医科 大学、複合大学、芸術大学の誘致の見通し、 医大誘致までの地元における医療体制整備 に対する見解

- (2) 地域経済の振興に関し、自立経済の基本 的な認識及び北海道経済の自立を図るため の具体策、人口の地域別増加状況と地域開 発の関連に対する認識、公共投資の地域別 配分の状況、地域産業の振興に対する見解 本間 喜代人委員(共産)から、
- (1) 苫東工業基地に関し、60年度までに進出する企業の見通し及び現時点における状況、専用埠頭の使用計画の内容と実現の可能性、港湾整備事業費要求額の大幅削減変更の理由、住宅団地の整備方針と地域振興公団の役割及び住宅団地の一括引受を要請する必要性、苫東工業基地開発の基本計画の見直しの検討状況
- (2) 北海道社会開発公社に関し、北海道社会 開発公社の運営のあり方、同公社を法人と して道が許可した理由
- (3) 土地取引と国土法に関し、俱知安町における土地取引の実態、国土法に抵触の有無と対処策、苫小牧市の土地買戻しの事例と価格の妥当性、近隣地価の高騰の要因となる懸念及び市に対する行政指導についての考え等について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長、同部次長、 大規模工業基地開発事務局長及び開発調整部参事から 答弁があって、開発調整部所管に対する質疑を終結。

〇3月26日(木)午前10時44分、第1委員会室において開議、午後5時35分散会

第1分科委員長

平野 明彦(自民)

生活環境部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から川崎守第3分科委員(共産) からの本分科会への出席及び生活環境部所管 に対する発言の申し出について、通告の分科 委員の質疑終了後これを許可することをはか り、異議なく決定。

岩崎 守男委員(社会)から、

- (1) 新生活運動に関し、冠婚葬祭の簡素化運動の進め方と道新生活運動協会が取り組む 必要性
- (2) 湿原の保護に関し、自然と開発についての基本的な考え方、ラムサール条約批准に

平野 明彦(自民)

対する道の態度及びラムサール条約で登録された釧路湿原を保護するための条件整備に対する考え、湿原保護ゾーンに対する考え、湿原保護ゾーンに対する考え、湿原保護ゾーンの範囲拡大についての見解及び湿原に生息する鳥類等の保護対策、 調路湿原における河川の改修、改良工事等による湿原への影響とこれら事業に対するアセスメント条例との関連及び条例適用に対する見解、釧路湿原プロジェクトチーム対する見解、釧路湿原プロジェクトチームの構成メンバーと2回目の検討会が開かれた理由、天然記念物指定地域拡大会議の内容とその結果の明示、釧路開発期成会の構成メンバーと期成会が実施した総合

保格 博夫委員(社会)から、

調査報告書の内容に対する措置

火力発電所に係る公害防止に関し、石油エネルギーから石炭エネルギーへの転換にかかる環境庁の考え方についての認識、王子製紙の火発のエネルギー転換と石油から石炭へ転換する場合の石炭必要量及び石炭の切り替え時期、公害防止協定の緩和に関する道の見解、公害防止協定の改定の手順及び協定の時期、協定の数値に対する考え方

藤井 虎雄委員(社会)から、

火力発電所に係る公害防止等に関し、環境 庁が全国公害研究協議会に委託調査した二酸 化硫黄の測定方法の把握状況と脱硝装置から 出るアンモニアの調査状況、王子火力発電所 のボイラーの燃料切替に伴う電気集じん機と 出力の規模及び環境基準設定に対する考え 方、苦東厚真発電所の1号機の粉じんの協定 値と北電が電気事業法により通産省に届け出 た数値との関連、公害防止協定締結における 北電の姿勢、公害防止協定締結における 北電の姿勢、公害防止協定を改定する場合の 数値に対する考え方、環境保全のため2号機 の粉じん量を低くめることの考え、2号機に 脱硝装置を設置する指導方針等について

質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁が あって午後5時35分散会。

○3月27日(金) 午後1時48分、第1委員会室 において開議、午後5時29分 散会 第1分科委員長 ① 生活環境部所管に対する質疑の続行、

藤井 虎雄委員(社会)から、

苦東厚真火力発電所に関し、厚真発電所2 号機の脱硝装置の設置に対する指導方針、関係市町村からの脱硝装置の設置についての意見の受けとめ方、脱硝装置から排出するアンモニアによる NOx 測定値への影響、火発から排出する重金属、発がん性物質等について解明する必要性、環境影響評価審議会のあり方、水銀等重金属を評価項目にすることに対する見解、評価項目拡大のための条例等の改正に対する見解、公害防止協定に水銀等の重金属を含めることについて検討方等について川崎 守委員(共産)から、

- (1) 日本セメント上磯工場に関し、日本セメント上磯工場の低周波空気振動公害の実態とその対策
- (2) 苫小牧地域における公害防止協定に関し、協定を改定するに当たっての基本的姿勢、ボイラーの燃料転換に伴う汚染対策の状況、苫小牧地域の酸性雨の実態と道の対策、苫小牧東部における発電所の今後の建設計画、道、地元、北電の3者の公害防止協定に水銀を入れる考え等について

質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁が あって生活環境部所管に対する質疑を終結。

② 人事委員会所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、本間喜代人第3分科委員 (共産)からの本分科会への出席及び人事委 員会所管に対する発言の申し出について、通 告の分科委員の質疑終了後これを許可するこ とをはかり、異議なく決定。

樫林 巖委員(社会)から、

- (1) 特殊勤務手当に関し、特殊勤務手当の廃止、額の改定について人事委員会が適当と 判断した根拠、職員組合との十分な話合い の必要性
- (2) 身体障害者の雇用問題に関し、身体障害者の雇用拡大に対する人事委員会としての基本的考え方と権限の範囲、他府県における雇用の実態、人事委員会が任命権者に対し積極的雇用について意見の具申をする決意

(3) 週休2日制に関し、道内の民間企業における実施状況と今後における動向、国家公務員の週休2日制の内容、他府県における実施状況、道の試行実施により把握された実施上の問題点と対処の方法、施行期日の規則委任に対する見解及び実施時期を明記し得なかった理由、週休2日制に対する人事委員会の基本的な考え方等について

質疑、意見及び要望があり、人事委員長から答弁、分 科委員長から、本間喜代人第3分科委員(共産)から 質疑の取下げがあった旨の報告があり、人事委員会所 管に対する質疑を終結。

O3月28日(土)午前10時43分、第1委員会室において開議、午後4時28分閉会

第1分科委員長

平野 明彦(自民)

① 出納局所管に対する質疑に入り、

樫林 巖委員(社会)から、

- (1) 歳計現金の取扱いに関し、出納長の職務 権限のかかわりとこの取り扱い上の基本的 考え方、会計相互間の振りかえの場合の手 続き、利子の支出区分、歳計現金の取扱い に係る出納局と財政課との所掌範囲及び相 互関係のあり方
- (2) 一般会計の一時借入金に関し、最近における一時借入の実態と一時借入金の最高限度額の設定に対する考え方、拓銀の当座借り越しを使用した理由、政府資金を借入れた理由とその実績、資金運用の管理等についての出納長の基本的考え方
- (3) 指名業者の資格審査に関し、指名業者の 指定に当たって隔年制を採用する理由と他 の公共機関の実態、隔年制をとった場合の 問題点と対処の方法

岩崎 守男委員(社会)から、

金融機関からの借入れに関し、銀行間の共 通利率の設定についての考え方、他府県に比 べ道の借入れ金利の高い理由、金利の引下げ について努力の必要性、プライムレートの変 動に伴う借入れ利率の引下げを早急に要請す る必要性等について

質疑、意見及び要望があり、出納長及び出納局長から

答弁があって、出納局及び監査委員所管に対する質疑 を終結。

- ② 総務部所管に対する質疑に入り、 神本 三也委員(社会)から、
 - (1) 超過負担の解消に関し、国庫補助事業に 係る超過負担の要因、単価差等の計算方法 と超過負担解消についての国との折衝の経 過、56年度予算における超過負担の取扱い と解消のための取り組み方
 - (2) 予算編成のあり方に関し、青少年婦人事務局の予算計上のあり方と予算執行上の問題点、本庁機構の見直し及び週休2日制導入にかかわる予算計上の内容、部の参事職の削減理由、管理職のポスト削減分を一般職に振り向ける考え、本年度の退職者予定数と補充採用予定の状況
 - (3) 青少年婦人対策に関し、青少年婦人事務 局の事業実施のあり方、青少年指導員、婦 人指導員の配置の必要性に対する見解、道 青年婦人国際交流センター設置の必要性に 対する見解等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁があって、総務部所管に対する質疑を終結。

- ③ 分科委員長から、付託案件に対する審査報告について、分科委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。
- ④ 分科委員長から、分科会における審査終了 のあいさつがあった。

第2分科会

〇3月19日(木)午後2時56分、第2委員会室において開議、午後3時8分散会

第2分科委員長

米村 邦敏(社会)

正副委員長の互選

- ① 指名推選の方法により、分科委員長に米村 邦敏委員(社会)、分科副委員長に水岡薫委 員(自民)をそれぞれ選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑方法等について 協議決定した。
- ③ 本分科会の運営についてはかり、自民、社

会、道政及び公明各1名計名4の理事を選び、 その協議により行うことをはかり、異議なく 決定。理事には、土屋良三委員(自民)、輪 島幸雄委員(社会)、勝木省三委員(道政) 及び柳谷正一委員(公明)をそれぞれ選出。

- ④ 分科委員外委員及び委員外議員の発言の取扱いについて、その都度分科会にはかり決定することとした。
- ⑤ 議席についてはかり、異議なく配付の議席 表のとおりとすることに決定。
- 〇3月23日(月)午前10時22分、第2委員会室において開議、午後4時34分散会

第2分科委員長

米村 邦敏(社会)

① 土木部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、本間喜代人第3分科委員 (共産)からの本分科会への出席及び土木部 所管に対する発言の申し出について、通告の 分科委員の質疑終了後これを許可することを はかり、異議なく決定。

吉田 英治委員(社会)から、

- (1) 建設業者の倒産に関し、建設業者の倒産 の実態とその原因及び業績不振の内容、業 種別倒産割合
- (2) 公共工事の発注に関し、上半期前倒し発注に対する考えと取り組み方、前倒発注による景気浮揚の波及効果、資材、労務対策に係る国、地方公共団体との間に連絡調整機関を設ける考え方、道産資材の活用に対する特別措置の考え、秋期及び冬期工事量の確保対策
- (3) 中小建設業者の受注確保に関し、C・D・Eクラスの中小建設業者に対する今後の発注の取り組み方、中小企業への融資に対する配慮と道建設業信用保証株式会社との連けいに対する考え方
- (4) 工事の下請に関し、道内における下請の 実態、下請届提出の徹底、一括下請に対す る措置、元請、下請聞の不公正取引きの是 正方法、公共工事の適正な価額での発注 方、人身事故防止に対する行政指導の強化 の必要性

- (5) 用地の買収問題に関し、公共事業の執行 に伴う用地交渉に対する基本的考え方、用 地処理の迅速と適正化に対する見解
- (6) 事業の執行体制に関し、土木事業量の増加に伴う職員定数増に対する見解、札幌土現岩見沢出張所の改築の考え等について質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁、分科委員長から、本間喜代人第3分科委員(共産)から質疑通告の取下げがあった旨報告の後、引き続き、

萩上 元春委員(社会)から、

- (1) 河川の浄化対策に関し、河川の汚濁に対する河川管理者としての見解、松倉川の改修事業の内容、水質汚濁によるサケ・マスそ上への影響と対処策
- (2) 建設業退職金共済制度に関し、道内における退職金共済制度への加入状況、加入促進に対する具体的指導方針、建設労働者に対する制度の周知徹底の必要性、退職金共済手帳の所持状況と証紙の貼付についての指導、退職金共済費を賃金から天引きしている事実に対する見解

工藤 啓二委員(公明)から、

急傾斜地対策に関し、危険区域の総数と急傾斜地指定の状況、危険個所の指定の効果、 危険指定区域における事業完了の見通し、危 険指定区域における避難体制、危険個所に対 する再点検の実施状況、急傾斜地の事業の内 容と年次別予算額、道単独事業による急傾斜 地対策事業を促進する考え等について

質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁があって、土木部所管に対する質疑を終結。

③ 住宅都市部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、本間喜代人第3分科委員 (共産)からの本分科会への出席及び住宅都 市部所管に対する発言の申し出について、通 告の分科委員の質疑終了後これを許可するこ とをはかり、異議なく決定。

長岡 寅雄委員(社会)から、

(1) 住宅供給公社の運営に関し、公社に対する道の指導監督権の法的根拠、公社法に基づく報告聴取等の状況、55年度における事業の実績見込み、中高層の住宅が少ない理由、56年度における事業計画策定の基本的考え方、土地の保有状況と長期間保有地の

土地の処理対策、公団住宅の空家の実態、空家となる原因及び空家の具体的解消策

- (2) 住宅対策に関し、道営住宅の家賃改定に かかる住宅対策審議会の答申尊重の考え、 家賃の改定について入居者の理解を得るた めの方途、修繕計画及び管理体制整備に対 する考え方、持ち家対策にコーポラテイブ ・ハウス方式を取り入れる考え等について 質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁。
- ○3月24日(火) 午前10時22分、第2委員会室 において開議、午後5時38分 散会 第2分科委員長

米村 邦敏(社会)

① 住宅都市部所管に対する質疑の続行、 萩上 元春委員(社会)から、

函館湾流域下水道に関し、下水処理水の函館湾への放出による赤潮発生のおそれ、2次処理の窒素・リンの除去範囲に対する見解と3次処理の制度化の見通し、函館湾流域下水道全体計画の完成見通しと3次処理を行う考え、亀田川への放出を認めない理由、本事業の実施計画について地元関係団体及び住民との対応のあり方等について

輪島 幸雄委員(社会)から、

- (1) 公営住宅に関し、老朽道営住宅の建替計画の内容、老朽道営住宅の家賃の低減措置の考え、第3期住宅建設計画における公営住宅建設の達成率が低かった理由と今後における公営住宅建設のあり方
- (2) 個人住宅の建設に関し、第4期計画における民間住宅建設の今後の見通しと持ち家住宅建設の促進対策等について

柳谷 正一委員(公明)から、

(1) 住宅の建設計画に関し、これまでの住宅 建設5箇年計画の実績、居住水準の推移に 対する見解、第4期住宅建設5箇年計画の 策定に対する考え方と策定の時期の見通し 及び公的援助率に対する見解、改良住宅、 建替住宅の建設に対する基本的考え方、次 期計画における身障者向けの公営住宅建設 の基本的考え方、道営札幌白樺団地の身体 障害者住宅建設に対する関係機関との協議 (2) 宅地対策に関し、第4期住宅建設5箇年 計画の策定に当っての宅地対策の基本的考 え方、本道における宅地供給の実績と現状、 土地区画整理事業に係わる保有地の実態と 道の対応策、都市再開発事業による既成市 街地の再開発と住宅供給策、都市計画に当 っての高齢者対策に対する見解等について

本間 喜代人委員(共産)から、

- (1) 第4期住宅建設5箇年計画に関し、北海 道発展計画と第4期住宅建設5箇年計画と の関係及び建設計画達成の見通し、最低居 住水準を下回る世帯の解消状況、発展計画 の建設戸数をふまえた住宅政策実施の決意
- (2) 身体障害者向け住宅に関し、公営住宅に 現在入居している世帯数、身障者住宅の改 良及び新築に対する取り組み方
- (3) 道住宅供給公社に関し、南の里、厚真、 南幌3団地の開発に関する公社の役割り、 3団地を一括して地振公団に引き受けさせ ることに対する道の見解等について 質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁が あって、住宅都市部所管に対する質疑を終結。
- ② 企業局所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、川崎守第3分科委員(共産)からの本分科会への出席及び企業局所管に対する発言の申し出について、通告の分科委員の質疑終了後これを許可することをはかり、異議なく決定。

川崎 守委員(共産)から、

工業用水道事業に関し、苫小牧工業用水道 事業会計の赤字原因、室蘭、苫小牧地区工業 用水道の営業収支を分離できない理由、苫小 牧地区第2工業用水道の供給予定量の積算根 拠と今後における需要見込み、いすず自動車 が進出した場合の工業用水の需要見込み等に ついて

質疑、意見及び要望があり、企業局長から答弁があって、企業局所管に対する質疑を終結。

③ 民生部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、川崎守第3分科委員(共産)からの本分科会への出席及び民生部所管に対する発言の申し出について、通告の分科委員の質疑終了後これを許可することをはかり、異議なく決定。

岩崎 守男委員(社会)から、

- (1) 離婚問題に関し、離婚の実態とその原因 に対する認識、寡婦、母子及び父子対策の 充実に対する見解、青少年の非行原因と離 婚との関連に対する見解
- (2) 乳児院に関し、中央乳児院の移転問題について札幌市との話し合いの状況、移転の理由と妥当性、乳児院の性格と機能に対する認識、家族等の面会の利便性についての配慮、ベビーホテルと乳児院の関連等について

質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁。

〇3月25日(水)午前10時28分、第2委員会室において開議、午後4時53分散会

第2分科委員長

米村 邦敏(社会)

① 民生部所管に対する質疑の続行、

保格 博夫委員(社会)から、

- (1) 歯科医療に関し、デンタルローンの実態と道医師会のこれに対する受けとめ方及び道医師会に対する指導助言の有無、保険制度と高額医療費負担の関係、歯の治療における保険診療と自由診療との関係、クレジット会社をつくっている場合の維持運営費及び専門店における金利の負担に対する見解、歯の治療費を貸付けするクレジット会社の減少に対する見解、歯科医師の脱税の把握状況
- (2) 行政改革に関し、札幌の内部障害者更生 指導所と美唄の重度身体障害者更生指導所 等とを統合する理由及び移転する理由、道 内と札幌地区、美唄地区における人工透析 の患者数、心身障害者総合相談所との併置 についての検討と通所制度についての考え 方
- (3) 乳児院に関し、中央乳児院移転問題について札幌市との話し合いに取り組む考え方等について

舟山 広治委員(社会)から、

(1) 障害者対策に関し、障害者年に当たって の障害者対策についての基本的見解と対処 方針、身障者のケアつき住宅に対する基本 的考え方と実態把握の取り組み方

- (2) 老人福祉に関し、国の老人保険法案に対する状況、老人医療の低下の抑止について他府県との連携による国への働きかけの必要性、過疎地域における老人対策に対する見解、ホームヘルパー数の低下に対する所見
- (3) 静和園の廃止に関し、静和園の廃止に伴 う財政的効果に対する見解、行政改革の提 示後における入所者の激減に対する受けと め方、老人施設についての新構想の考え、 ビルド面の同時推進の必要性、静和園の関 係者の本分科会への出席方等について

質疑、意見、要望及び措置要求があり、民生部長から 答弁、委員長から応答。

〇3月26日(木) 午前11時45分、第2委員会室 において開議、午後4時46分 散会

第2分科委員長

米村 邦敏(社会)

① 民生部所管に対する質疑の続行、

分科委員長から、昨日の舟山広治委員(社会)の委員長に対する措置要求の取扱いについて発言の後、舟山広治委員(社会)から意見、ついで、

輪島 幸雄委員(社会)から、

- (1) 福祉関係非常勤職員の処遇に関し、福祉 関係施設の非常勤職員に対する待遇等の配 慮の必要性
- (2) 手話通訳者に関し、手話通訳者の配置状況と今後における配置の見通し及び手話通訳の技術習得の期間、手話通訳者の業務内容と待遇改善に対する見解
- (3) 重複障害者に関し、目の見えない者の重 複障害の実態把握の状況と施策の充実に対 する見解等について

高橋 鉱委員(公明)から、

障害者対策に関し、障害者の実態調査についての考え方及び調査の目途、国際障害者年における事業の長期行動計画の策定の具体的方針とその目途、市町村における国際障害者年の事業への取り組み方及び事業の策定状況、各市町村の事業の取り組みに対する指導

の考え、障害者に対する総合的な援護組織等 を設ける必要性、在宅福祉サービスモデル事 業の具体的内容、障害者福祉都市事業の拡大 についての考え方等について

川崎 守委員(共産)から、

- (1) 函館国の子寮に関し、ミンク飼養廃止後 における子供の生活指導の状況、国の子寮 の移転・整備に伴う補助金交付の妥当性、 社会福祉法人が株の売買を行うことに対す る見解
- (2) 肢体不自由児療育センターに関し、肢体不自由児等の療養の充実、増設の必要性、札幌の療育センターと函館の青柳学園との連携を保持するための具体的方策、乳幼児の脳性マヒの早期発見と早期治療体制拡充の考え方
- (3) 聴力障害者用の電話に関し、聴力障害者 用手書き電話の設置に対する見解
- (4) 身障者住宅に関し、身障者用住宅に関す る考え方と居室の整備に対する助成につい ての見解
- (5) 養護老人ホーム旭川静和闌に関し、静和 園廃止の理由と先駆的な役割を果たしたと する判断の根拠
- (6) ホームヘルパーに関し、ホームヘルパー の増員と身分安定についての考え方
- (7) 老人性痴呆症に関し、老人性痴呆症の実態とその対策についての見解
- (8) 不整咬合に関し、不整咬合の治療に対す る道の助成、保険の適用についての見解等 について

質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁があって、舟山広治委員(社会)の措置要求の部分を保留し、 民生部所管に対する質疑を終結。

〇3月27日(金) 午前10時41分、第2委員会室 において開議、午後5時7分 散会

第2分科委員長

米村 邦敏(社会)

(1) 分科委員長から、25日の舟山広治委員(社会)の措置要求の件について報告があって、 民生部所管で保留された措置要求にかかわる 部分を終結。

- ② 分科委員長から、本間喜代人第3分科委員 (共産)からの本分科会への出席及び衛生部 所管に対する発言の申し出について、通告の 分科委員の質疑終了後これを許可することを はかり、異議なく決定。
- ③ 衛生部所管に対する質疑に入り、 小田原 要四蔵委員(社会)から、
 - (1) 財団法人歯誠学園に関し、建物の評価額 が基本財産一覧表の土地、建物の価格と不 符合の理由、法人設置に係る審査のあり 方、入学を条件として受領した寄付金の年 次別使途状況と理事寄付金の返済に充当し たことの妥当性、学生からの寄付金を返還 させる必要性、法人運営に係る役員の責任 と法人に対する今後の指導方針
 - (2) 振動障害者の医療対策に関し、白ろう病患者の実態把握の状況、保健医療基本計画の中に振動障害の医療対策が欠落している理由、振動障害病患者に対応する医療機関の実態把握状況、入院に必要な病床数の確保、道立病院における対応と医療スタッフの不足に対する見解等について

舟山 広治委員(社会)から、

- (1) 特定疾患の対策に関し、特定疾患の現状 把握、原因究明、治療方法等調査研究に対 する把握状況、公費負担対象の拡大の考え 及び今後における対策の取り組み姿勢並び に治療体制の充実に対する見解、道立病院 の特定疾患患者に対する対応の実態、道立 北野病院の整備に対する見解
- (2) 韓国型出血熱に関し、韓国型出血熱に対する現状認識、実験動物を入手する飼育業者の実態把握、飼育動物の管理責任の所在、飼育業者に対する指導行政機関の明確化
- (3) 生薬公社に関し、生薬公社の経営実態及び今後における道の取り組み姿勢等について

輪島 幸雄委員(社会)から、

- (1) 医師の確保に関し、本道の医師不足の状況と確保の見通し、本道における医師数と 地域格差の解消策、医科大学卒業後における研修体制整備の必要性
- (2) センター病院に関し、センター病院の施設整備の強化、開業医に対する研修の充実

及び運営費補助に対する考え方

- (3) 保健行政に関し、将来の保健所機能に対する展望と地域医療との関連に対する基本的考え方、一次医療の現状把握等について質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁。
- 〇3月28日(土)午前10時28分、第2委員会室において開議、午後3時51分閉会

第2分科委員長

米村 邦敏(社会)

- ① 衛生部所管に対する質疑の続行、 本間 喜代人委員(共産)から、
 - (1) 道立病院に関し、地域センター病院の建設計画における55、56年度における整備状況、呼吸器疾患濃厚治療病棟の完成の目途、道立病院の医師を嘱託医に委嘱することに伴う地元負担の解消策と嘱託医とする場合の義務免の手続きの有無
 - (2) 腎臓移植に関し、腎臓移植の推進のため 腎臓提供者に対する助成制度の創設につい ての見解
 - (3) 衛生処理組合に関し、川上郡衛生組合の 不正事件に係る道の行政指導の必要性等に ついて

質疑、意見及び要望があり、衛生部長の答弁があって、 衛生部所管に対する質疑を終結。

② 教育委員会所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、川崎守第3分科委員(共産)からの本分科会への出席及び教育委員会 所管に対する発言の申し出について、通告の 分科委員の質疑終了後これを許可することを はかり、異議なく決定。

小田原 要四蔵委員(社会)から、

- (1) 高等学校の入学試験問題に関し、理科の 解答を追加した理由と影響、理科教育の基 本理念に対する考え方
- (2) 理科教育等設備の整備に関し、教育長計の実施計画に基づく理科教育整備充実に対する見解、教育長計の策定に当たり現場の意向をくみとることの必要性と後期計画について改定見直しの考え
- (3) 新設高校に関し、新設される江差地区の 高校の予算内容と施設の具体的内容、江差

高校を分離して新設する高校の教育課程の 考え方等について

質疑、意見及び要望があり、教育長及び学校教育部長 から答弁があって、教育委員会所管に対する質疑を終 結-

- ③ 分科委員長から、付託案件に対する審査経 過報告について、分科委員長に一任されたい 旨をはかり、異議なく決定。
- ④ 分科委員長から分科会における審査終了の あいさつがあった。

第3分科会

〇3月19日(木)午後2時58分、第11委員会室において開議、午後3時8分散会

第3分科委員長

字川 源吉(自民)

正副委員長の互選

- ① 指名推選の方法により、分科委員長に宇川 源吉委員(自民)、分科副委員長に関根建二 委員(社会)をそれぞれ選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑方法等について 協議決定した。
- ③ 本分科会の運営についてはかり、自民、社会、道政、公明各1名計4名の理事を選び、その協議により行うこと及び共産についてはオブザーバーの扱いとすることをはかり、異議なく決定。理事には、伊藤弘委員(自民)、吉野之雄委員(社会)、小田部善治委員(道政)、高橋鉱委員(公明)をそれぞれ選出。
- ④ 委員外議員の発言の取扱いについて、その 都度分科会にはかり決定することとした。
- ⑤ 議席についてはかり、異議なく配付の議席 表のとおりとすることに決定。
- ○3月23日(月) 午前10時27分、第11委員会室 において開議、午後6時2分 散会

第3分科委員長

宇川 源吉(自民)

① 農務部所管に対する質疑に入り、

藤井 虎雄委員(社会)から、

- (1) 伊達市における農地の売買に関し、農業委員会の土地あっせん価格の妥当性と土地あっせんの経過、現地目証明を発行し農地法の適用を除外した理由と農地法に抵触の有無、農業委員会のあり方と農地法の運用の適正化
- (2) 伊達火発パイプライン設置に関し、伊達市に公害防止協定に基づく農業調査委員会設置の有無、家畜の被害、農業用施設などの補償に対する考え方等について

関根 建二委員(社会)から、

農地法及び農業委員会の活動に関し、農地 法の執行に対する道の基本的考え方、農地法 に基づく農地の移動・転用等の実態とその特 徴的傾向、農地法第3条の一部改正と農業委 員会運営の指導に対する見解、農地法第3条 の許可事案と斜里町等における農地の譲受申 請人の適格性、申請の内容の適否及び許可の 妥当性等について

舟山 広治委員(社会)から、

酪農問題に関し、酪農負債解消に対する方針と新酪農検査体制のあり方、転作農家の経営実態に対する見解、旭川市江丹別地区の肉牛、養豚農家等の経営収支等の実態及び北海道畜産会のコンサルタント機能のあり方に対する見解、生産法人のしくみと運営の実態及び株式会社の営農参加の実態に対する見解等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

〇3月24日(火)午前10時37分、第11委員会室において開議、午後5時32分散会

第3分科委員長

宇川 源吉(自民)

① 農務部所管に対する質疑の続行、

舟山 広治委員(社会)から、

- (1) 農業改良普及制度に関し、農業改良普及制度の現状及び基本的な考え方
- (2) 社団法人北海道農業改良普及協会の運営 に関し、事業内容と普及事業との関連性、 協会の構成と会員となるための加入条件及 び今後の運営のあり方

(3) 農業改良普及職員協議会の運営に関し、 事業内容、同協議会代表者の雑誌論文内容 とこれに対する見解、農業改良普及職員協 議会代表者の本分科会への出席方について

質疑、意見及び措置要求があり、農務部長から答弁の後、議事進行の都合により午前11時54分休憩、午後2時5分再開。分科副委員長から、休憩前の舟山広治委員(社会)の措置要求に関連し、農務部長から事情を聴取する旨を述べ、農務部長から事実の経過と見解について説明、引き続き、

舟山 広治委員(社会)から、

(4) 北海道農業改良普及事業協議会の発足に 関し、同協議会の設立経過と事業内容等に ついて

熊谷 克治委員(社会)から、

農業試験場の整備に関し、試験場整備の基本計画に対する考え方と各試験場の性格及び試験研究の内容、現場の意見と基本計画との関係、年次別実施計画の必要性及び北海道発展計画との関連、資金計画の内容と試験場立地場所の考え方等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁があって、農務部所管に対する質疑を終結。

○3月25日(水) 午前10時30分、第11委員会室 において開議、午後4時56分 散会

第3分科委員長

宇川 源吉(自民)

① 林務部所管に対する質疑に入り、

吉野 之雄委員(社会)から、

- (1) 道有林に関し、道有林の経営目的、道有 林野経営審議会の設置の経緯と役割及び林 業振興審議会の設置目的並びに具体的な所 掌事項に対する見解
- (2) 間伐対策事業に関し、56年度における造 林予算の減額の理由と今後の事業に与える 影響、カラマツの需要動向に対する見解及 び林業振興との関連等について

川崎 守委員(共産)から、

保安林に関し、別海町における保安林指定 解除の理由及び違反行為とその措置状況等に ついて

質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁があっ

て、林務部所管に対する質疑を終結。

- ② 農地開発部所管に対する質疑に入り、 星野 健三委員(社会)から、
 - (1) 旧北海道開拓農業協同組合連合会の所有 地処分に関し、国土利用計画による通知書 の内容と現在の取引内容の相違及び温泉源 の採掘の問題点と活用に対する道の指導の あり方
 - (2) 56年度農地開発関係予算に関し、道政執 行方針における重点事項の具体的内容と北 海道地域別農業指標に対応した諸施策の展 開に対する見解
 - (3) 水田の転作に関し、45年以降の水田造成 面積と転作面積及びそれに要した費用、江 丹別ダムの利用状況とその機能に対する見 解
 - (4) 北海道土地改良事業団体連合会の運営に 関し、54年度における決算の内容、国の検 査、道の監督と指導のあり方、土地改良法 第111条の4の具体的解釈、法人の性格と税 制との関係等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁の後、 議事進行の都合により午後4時54分休憩、午後4時55 分再開し、直ちに散会。

〇3月26日(木)午前11時7分、第11委員会室において開議、午後5時17分散会

第3分科委員長

宇川 源吉(自民)

- ① 農地開発部所管に対する質疑の続行、 農地開発部長から、昨日の星野 健 三 委 員 (社会)の質疑に対する補足答弁の後、 星野 健三委員(社会)から、
 - (1) 道開拓農協連合会の温泉権取得に関し、 温泉の活用の見通しと地域住民の意向の把 握状況
 - (2) 道土地改良事業団体連合会の運営に関し、54年度決算におけるの税金の内容、運営にかかる積立金及び利子収入の扱い方、土地連の会館建設費の財源充当の内訳と職員退職積立金からの流用による問題点及び是正の指導、会計処理について複式簿記採用の検討及び運営上の道の指導に対する見

解等について

質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁が あって、農地開発部所管に対する質疑を終結。

② 労働部所管に対する質疑に入り、 吉野 之雄委員(社会)から、

- (1) 季節労務者に関し、季節労務者の賃金実 態の把握状況と就労機会の確保等に対する 道の取り組み姿勢
- (2) 原子力発電所の従業員に関し、原子力発電による従業員の安全性に対する認識と労働安全に関する実態調査の徹底及び安全性が確認される時期までの共和・泊原発の建設延期措置等について

関根 建二委員(社会)から、

- (1) 岩沢企業グループの倒産に関し、岩沢企業グループの経営及び従業員の実態把握の 状況、今後の倒産防止対策に対する見解
- (2) 日雇労働者に対する知事贈与金に関し、 知事の贈与金の引上げと名称の変更に対す る見解
- (3) 各種労働相談員に関し、相談員の選任方法、基準、配置及び適正化に対する考え方、婦人相談員の機能分担の明確化と相互連携体制の確立に対する見解
- (4) 職業病対策に関し、道内における振動病 患者の実態把握の状況、無振動機械導入に 対する国の助成制度の継続要請と道単独の 助成策、チェンソーの使用時間の規制に対 する指導の徹底、振動病患者の早期発見と 治療対策、軽労働可能者に対する就労対策
- (5) 職業訓練に関し、自衛隊員を対象とした 定年前職業訓練の実施経過と訓練状況及び 自衛隊員以外に対する定年前訓練実施の考 え方等について

質疑、意見及び要望があり、労働部長から答弁。

〇3月27日(金)午前10時43分、第11委員会室において開議、午後6時5分散会

第3分科委員長

字川 源吉(自民)

① 労働部所管に対する質疑の続行、

高橋 鉱委員(公明)から、

身体障害者の雇用に関し、身障者の雇用率

達成に対する見解、身障者の雇用促進についての市町村に対する指導状況とその効果及び 雇用率未達成企業に対し勧告並びに公表を行 うことに対する見解等について

本間 喜代人委員(共産)から、

- (1) 身体障害者の雇用に関し、障害者の適職 の開発、適応作業職種等の手引書作成の考 え、雇用率の低い企業に対し勧告等の強化 に対する考え方
- (2) 失対事業の特別援助措置に関し、失対労 務者の自立促進にかかる運用のあり方と特 別援助措置の存続期間等について

質疑、意見及び要望があり、労働部長から答弁があって、労働部所管に対する質疑を終結。

- ② **商工観光部所管に対する質疑**に入り、 **渋谷 澄夫委員(社会)**から、
 - (1) プロパンガスの価格に関し、プロパンガス価格の本州との価格差解消の方策及び共同購入方式に対する道の指導通達の撤回と共同購入の普及のための業界指導の考え
 - (2) 核廃棄物の処理等に関し、核廃棄物の深 海における腐食試験及び放射性核種の浸出 試験に対する認識、投棄海域において漁獲 された魚介類の放射性物質の影響、アメリ カの海洋投棄による影響の事例に対する所 見、千葉県の館山沖、相模湾、駿河湾への 放射性廃棄物投棄の事実関係と追跡調査及 びその後における海洋の状況に対する見 解、下川鉱山における地層等の試験終了後 における放射性廃棄物処理の可能性等につ いて
 - (3) 道の原発広報紙に関し、原発広報紙の発 行の目的及び記事内容の客観性に対する見 解等について

藤井 虎雄委員(社会)から、

- (1) 北炭の再建計画に関し、北炭再建計画の 内容についての把握状況及び再建計画に対 する道の支援体制についての見解
- (2) 石炭及び電力に関し、54年度における石 炭と電力の需給動向、道の発展計画におけ る石炭及び電力の計画達成の見通し等につ いて

小田原 要四蔵委員(社会)から、

(1) 企業誘致に関し、企業誘致に対する基本

的な考え方と誘致のための事業内容、工業 団地開発における道と地振公団の分担内 容、企業立地動向の把握と企業の意識調査 結果に対する受けとめ方、臨海型の企業誘 致に対する再検討の必要性

- (2) 発展計画の工業出荷額に関し、発展計画 における工業出荷額算出の根拠と達成の見 通し
- (3) 北海道の開発政策に関し、本道の開発政策の進め方に対する見解等について 質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。
- 〇3月28日(土)午前10時30分、第11委員会室
において開議、午後4時26分
閉会
第3分科委員長
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
 - ① **商工観光部所管に対する質疑**の続行、 伊藤 豪委員(道政)から、

屋外広告物条例の一部改正案に関し、条例 改正の趣旨とそれに伴う規制の具体的内容、 高速自動車国道沿線の既存の屋外広告物の条 例改正後における取り扱い方、国道、道道沿 線及び市街地の屋外広告物に対する規制の現 況と規制強化に対する考え方等について 質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁が あって商工観光部所管に対する質疑を終結。

② 水産部所管に対する質疑に入り、 分科委員長から3月14日の本会議における 岩崎守男議員(社会)の一般質問に関連し、 水産部長から道漁連の事実関係について報告 したい旨の申し出について、これを許可し、 水産部長から報告。ついで、

萩上 元春委員(社会)から、

北洋資料館の建設に関し、北洋漁業関係資料の保存意義に対する基本的考え方、兩館市に委託した北洋漁業関係資料の調査内容と結果に対する見解、北洋資料館の性格、建設予定地が変更になった理由と妥当性等について長岡 寅雄委員(社会)から、

水産業改良普及事業に関し、水産業改良普及事業の法的根拠とその性格及び任務に対する見解、水産技術普及指導所の設置箇所数、配置人員、施設、設備等の現状、今後の拡充

強化に対する見解等について

吉野 之雄委員(社会)から、

共和、泊原発の建設に係る影響調査に関し、北電が実施した海域調査の方法、内容並びに評価、取・排水によるスケトウダラの卵、 稚仔魚並びに餌料条件等に与える影響等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁、分科 委員長から、岩崎守男委員(社会)及び中川隆之委員 (道政)から質疑通告の取下げがあった旨報告の後、 引き続き、

本間 喜代人委員(共産)から、

大平洋小型サケ・マス漁船船側材適正化に 対する調査に関し、大平洋小型サケ・マス漁 船の防げん材の装備の実態とその対応につい ての考え方等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁があって水産部所管に対する質疑を終結。

- ③ 分科委員長から、付託案件に対する審査経 過報告について、分科委員長に一任されたい 旨をはかり、異議なく決定。
- ④ 分科委員長から、分科会における審査終了 のあいさつがあった。
- 〇3月28日(土)午後6時10分、第1委員会室において開議、午後9時57分閉会

委員長 水沼徳一郎(自民)

- ① 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。
- ② 知事に対する総括質疑に入り、

熊谷 克治委員(社会)から、

農業試験場及び畜産試験場の整備に関し、 農業試験場の具体的な整備計画及び資金計画、現場の意見反映の必要性、新得畜産試験 場の廃止に対する地元関係機関等の反対意見 の受けとめ方、試験研究機関の年次別施設整 備計画の内容等について

藤井 虎雄委員(社会)から、

発展計画におけるエネルギー見通 しに関し、総合エネルギー指標の改訂の考え、電力 需給見通しの妥当性と過剰設備となる懸念等 について

岩崎 守男委員(社会)から、

湿原の保護に関し、自然保護と開発に対する知事の基本姿勢、開発行為の湿原への影響とアセスメント条例との関連及び条例適用に対する見解、釧路湿原の保護と開発行為の工種、工法の改善に対する考え方等について

保格 博夫委員(社会)から、

- (1) 行政改革に関し、行政改革に取り組む知事の基本的考え方、静和園の廃止に対する 入居者等の理解を得る必要性、乳児院の移転によるメリット及び札幌市との協議状況と本問題に対する知事の取組み姿勢、美唄市の身体障害者及び重度身体障害者更生指導所と内部障害者更生指導所の統合する意義と理由並びに問題解決に対する知事の考え方
- (2) 王子製紙のボイラーのエネルギー転換に 関し、公害防止協定の緩和に関する道の見 解、公害防止協定の改定の手順及び協定の 時期、協定の数値に対する考え方等につい て

川崎 守委員(共産)から、

別海町における保安林指定解除の理由及び 違反行為とその措置状況について

質疑、意見及び要望があり、知事から答弁があって、 知事に対する総括質疑を終結。付託案件に対する意見 調整のため午後9時38分休憩、午後9時48分再開。

③ 委員長から、各派代表者会議において付託 案件に対する意見調整の結果、議案第1号、 第14号ないし第17号、第37号及び第45号につ いて意見の一致を見るに至らなかった旨及び 樫林巖委員(社会)ほか17人から、議案第1 号について修正動議が提出されている旨報告 の後、樫林巖委員(社会)から趣旨説明があ り、直ちに採決に入り、議案第1号の修正案 を問題とし、起立採決の結果、起立少数(自 民、道政反対)をもって否決と決定。次に、 議案第1号の修正案にかかわる原案部分を問 題とし、起立採決の結果、起立多数(社会、 公明、共産反対)をもって原案のとおり可決 と決定。次に、議案第1号の修正案にかかわ る部分を除く原案部分を問題とし、起立採決 の結果、起立多数(共産反対)をもって原案 のとおり可決と決定。 ついで、 樫林 巖 委員 (社会)から、議案第1号に関し、少数意見 を留保する旨発言、次に、議案第14号及び第45号を一括問題とし、起立採決の結果、起立多数(社会、公明、共産反対)をもって原案のとおり可決することに決定。次に、議案第15号ないし第17号及び第37号を一括問題とし、起立採決の結果、起立多数(社会、公明、共産反対)をもって原案のとおり可決することに決定。次に、議案第2号ないし第13号、第22号、第43号、第44号及び第46号ないし第54号を一括問題とし、いづれも異議なく原案のとおり可決と決定。

④ 委員長から、付託案件に対する審査終了の あいさつがあった。

第1回定例会において議決を経た条例の公布調

件		議決月日	公布月日	公布番号
北海道病院事業条例の一部を改正する条例		2. 24	2. 28	北海道条例第1号
北海道原料乳検査条例を廃止する条例		同	[ii]	北海道条例第2号
北海道水産業振興審議会条例		3. 29	3. 31	北海道条例第3号
北海道林業振興審議会条例		同	[ii]	北海道条例第4号
北海道市町村振興基金条例の一部を改正する条例		間	[6]	北海道条例第5号
札幌医科大学条例等の一部を改正する条例		同	 	北海道条例第6号
北海道職員等の定数に関する条例の一部を改正する条例		同	同	北海道条例第7号
北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例		þíj	间	北海道条例第8号
北海道土地開発基金条例の一部を改正する条例		间:	[ri]	北海道条例第9号
北海道児童福祉施設設置条例の一部を改正する条例		[11]	问	北海道条例第10号
北海道保母修学資金貸付条例の一部を改正する条例		[11]	间	北海道条例第11号
北海道医学及び歯学修学資金貸付条例の一部を改正する条例		[11]	同	北海道条例第12号
理学療法士及び作業療法士修学資金貸付条例の一部を改正する条例		[再]	同	北海道条例第13号
北海道立衛生学院等看護職員課程修学資金貸付条例の一部を改正す る条例		[1]	[司]	北海道条例第14号
北海道看護職員養成修学資金貸付条例の一部を改正する条例		同	同	北海道条例第15号
北海道屋外広告物条例の一部を改正する条例		[ii]	μÏ	北海道条例第16号
北海道水産物検査条例の一部を改正する条例		[17]	[11]	北海道条例第17号
北海道有林野条例の一部を改正する条例		闰	同	北海道条例第18号
北海道立学校設置条例の一部を改正する条例		间	[11]	北海道条例第19号
北海道立教育研究所条例の一部を改正する条例		同	[11]	北海道条例第20号
北海道公立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補 償に関する条例の一部を改正する条例		同	同	北海道条例第21号
北海道地方警察職員の定員に関する条例の一部を改正する条例		前	[ri]	北海道条例第22号
警察官の職務に協力援助した者の災害給付に関する法律施行条例の 一部を改正する条例		[ਜ]	同	北海道条例第23号
風俗営業等取締法施行条例の一部を改正する条例		问	同	北海道条例第24号
北海道史編集審議会条例を廃止する条例		[n]	同	北海道条例第25号
北海道大麻団地開発事業特別会計条例を廃止する条例		闻	[14]	北海道条例第26号
北海道職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条 例		间	同	北海道条例第27号
北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一	一部を改正する条例	同	回	北海道条例第28号

件	名	議決月日	公布月日	公 布 番 号
北海道地方警察職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する 条例		3. 29	3. 31	北海道条例第29号
北海道知事等の給与等に関する条例	等の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第30号

3 月 の メ モ

- 1日 ○喜茂別町議会解散請求に伴う住民投票の 結果、リコールは不成立。
 - ○新帯広空港が開港。道内では4番目のジェット機空港。
- 2日 ○政府は国鉄赤字ローカル線の廃止基準を 定める政令策定について関係閣僚協議会 で最終合意。①56年度から第1段階で42 線、うち道内は8線、②58~60年度まで の第2段階で35線、うち道内は15線。
- 3日 ○国鉄再建法施行令(地方線廃止基準を定める政令)を閣議で決定。割増特別運賃 対象地方交通線は175線、うち本道関係 は31線。
- 8日 ○高知県窪川町で、原子力発電所の是非を 問う住民投票があり、町長のリコールが 成立。原発に絡む自治体首長リコール投 票は全国初。
- 9日 ○国鉄道総局は、石狩と十勝を結ぶ石勝線 (仮称)の開業予定日を10月1日と公表。 着工以来16年日、約650億円を投入。
- 15日 ○伊東外相とポリャンスキー駐日ソ連大使 が会談。北方領土問題で主張は平行線。
- 16日 ○第2次臨時行政調査会がスタート。初会 合で鈴木首相が夏までに第1次答申を提 出することを要請。
- 23日 〇千歳空港が国際化され、堂垣内知事、西 尾議長らを乗せた成田経由のホノルル行 き1番機が同空港を飛び立った。
- 29日 〇第1回定例道議会閉会
- 30日 〇レーガン大統領が首都ワシントンで撃たれる。犯人はその場で逮捕。